

2.流域治水プロジェクトの拡充について

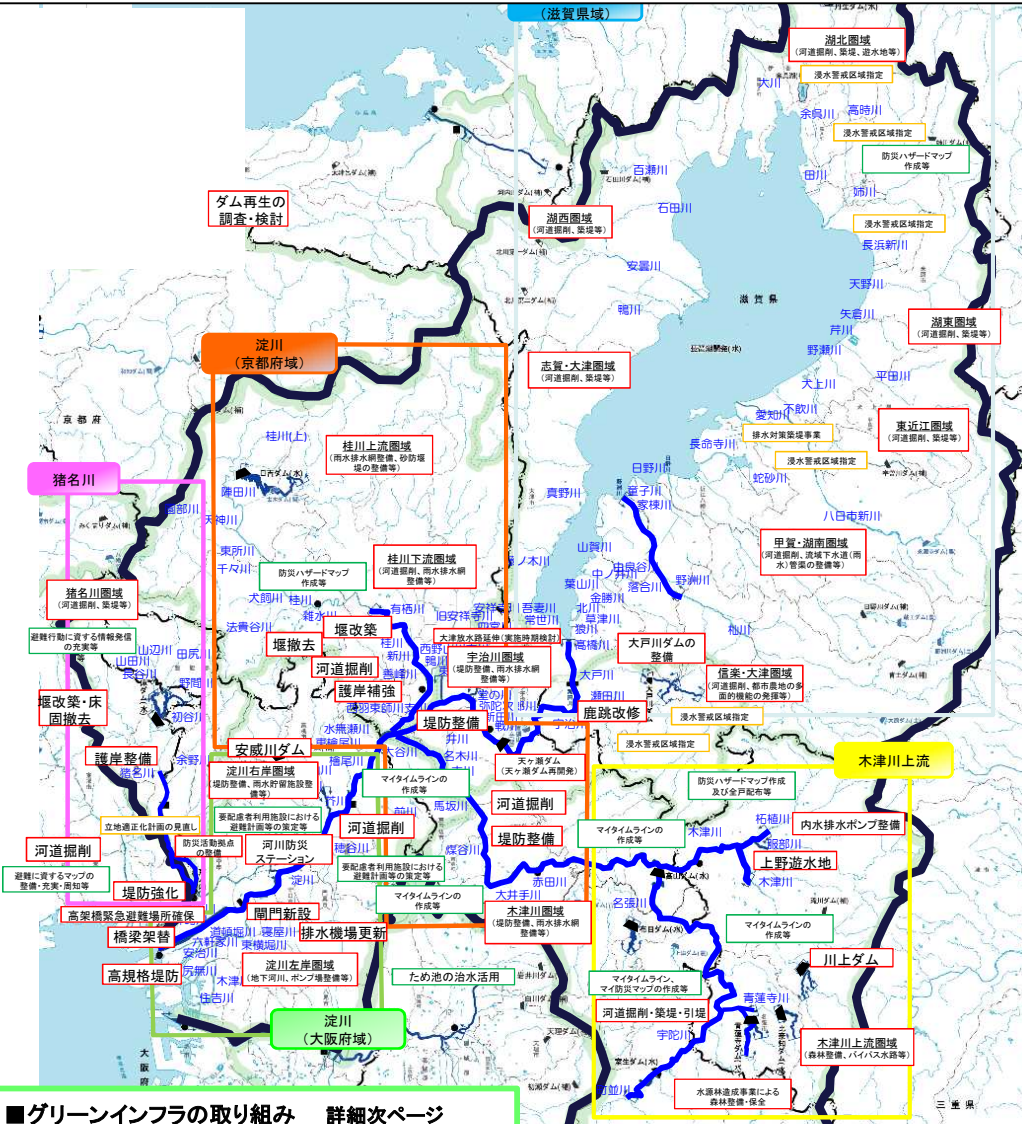
淀川水系流域治水プロジェクト【全体版】

淀川水系流域治水プロジェクト 【位置図】

【全体版】

～流域人口1,100万人の「淀川市民」の命を守る治水対策の推進～

○淀川水系の特徴として下流部ではゼロメートル地帯が広がり、上流の宇治川・瀬田川、木津川、桂川においては、琵琶湖からの流出部をはじめ、岩倉狭、保津峡と呼ばれる狭窄部が存在し、猪名川においても銀橋周辺が狭窄部となっている。令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、淀川水系においても気候変動の影響等を踏まえ上下流バランスを確保しながら上流域では、川上ダム建設や天ヶ瀬ダム再開発等による洪水調節機能の向上を、下流域では、洪水の流れを阻害している阪神なんば線の架替等の事前防災対策を進める。これらの取り組みにより国管理区間では、淀川本川においては計画規模洪水を安全に流下させる能力を堅持しながら宇治川・桂川において平成25年台風18号洪水を安全に流下させ木津川・猪名川については、戦後最大規模の洪水の降雨量を1.1倍とした洪水を安全に流下させる。



● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

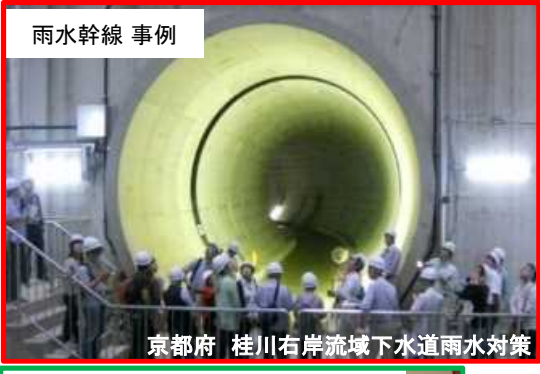
- ・河道掘削、河道拡幅、築堤、堤防強化、高規格堤防、天ヶ瀬ダム再開発、川上ダム、安威川ダム、上野遊水地、鹿跳改修、橋梁架替、地下河川、バイパス水路、堰改築、堰撤去、護岸整備、大戸川ダム、河川防災ステーション整備
- ・流域下水道（雨水）管渠の整備、公共下水道（雨水）管渠等の整備、雨水ポンプ増強、内水排水ポンプ設備
- ・雨水貯留浸透施設の整備、開発行為に伴う調整池の設置、ため池の治水利用
- ・利水ダム等25ダムにおける事前放流等の実施、体制構築、河川改修に伴うダム運用改善、ダム再生の調査・検討
(関係者：国、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、大阪府、三重県、水資源機構、土地改良区、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、奈良市、天理市、日野川用水施設管理協議会、甲賀市、宇陀市、関西電力（株）、山添村、大阪府、伊賀市、川西市、伊丹市、尼崎市、池田市、枚方市、大阪広域水道企業団、守口市、名張市、中部電力（株）、いぶき水力発電（株）、阪神水道企業団など）
- ・森林整備・保全のための治山対策等、砂防事業（堰堤）の推進による雨水・土砂・流木の流出抑制対策
- ・農地・農業水利施設の整備・保全
- ・水源林造成事業による森林の整備・保全
- ・道路高架区間等の緊急避難場所確保 等

● 被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導
- ・建物等の耐水機能の確保・維持
- ・浸水範囲の限定・氾濫水の制御
- ・水害リスクマップの作成 等

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組、水害リスク情報の空白域の解消、内水ハザードマップの策定
- ・避難指示等の判断・伝達マニュアルの整備
- ・広域避難計画等の策定
- ・マイ・タイムラインの作成
- ・要配慮者利用施設における避難計画等の策定及び避難訓練の実施、避難支援対策の整備
- ・水位計・監視カメラの設置、監視体制の拡充
- ・VR・AR等を用いた情報発信
- ・「局地的豪雨探知システム」の利活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定
- ・住宅再建共済制度への加入促進 等



■グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

※流域治水協議会には現時点で90機関が参加

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。各エリアの主な対策を記載しており、各エリアの詳細については、別途分会（詳細図）を参照してください。
※他の事業者の計画も見直されれば、その内容をプロジェクトに反映します。※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

淀川水系流域治水プロジェクト 【位置図】

【全体版】

～流域人口1,100万人の「淀川市民」の命を守る治水対策の推進～

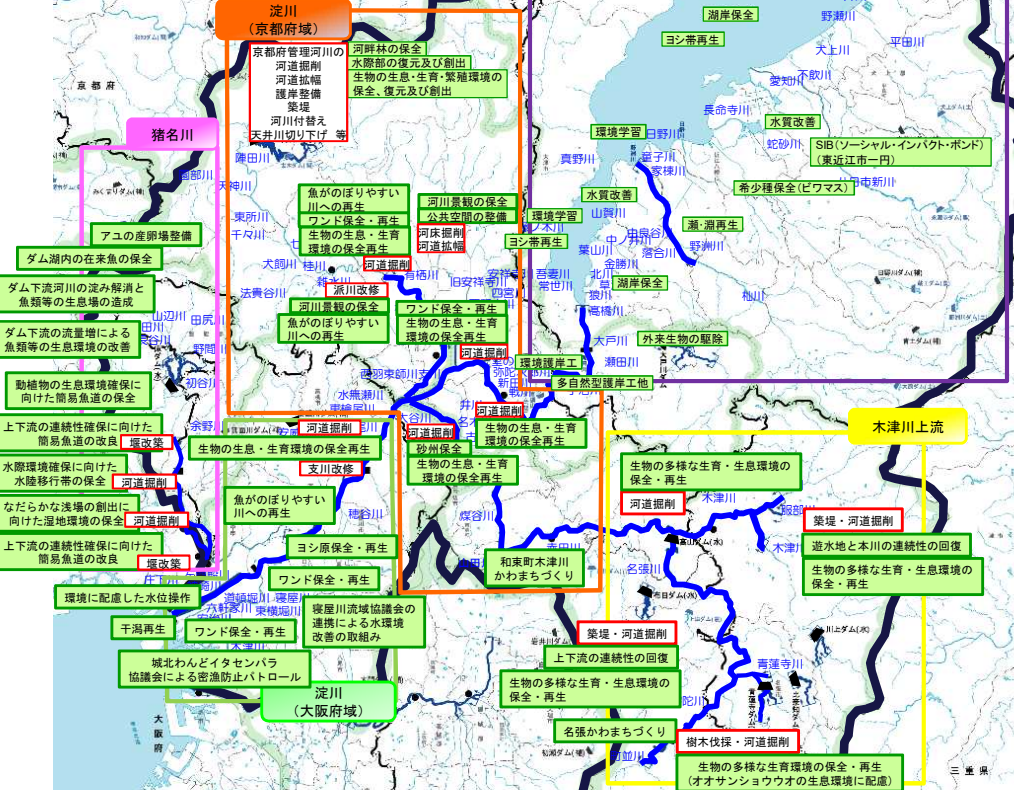
- 淀川下流域では、ヨシ原、寄り州、ワンド・たまりや干潟などの環境に応じて、イタセンパラをはじめとする魚介類、鳥類、塩性植物など、多くの動植物が見られる。
- 宇治川のヨシ原や礫床、木津川の砂州河原、たまり、瀬と淵、桂川のワンドなどの環境に応じて、オオヨシキリ等の鳥類やナカセコカワニナやヨドゼゼラなどの魚介類が見られる。
- 木津川上流部の一部は室生赤目青山国定公園に位置し、国の天然記念物であるオオサシショウウオの生息が確認されている。
- 日本最大の湖である琵琶湖は、多様な生物が生息する他、下流域の暮らしを支える水資源である。
- 猪名川の自然環境は都市部に残された貴重な自然環境として人々に潤いを与えている。

こうした次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境、多様な生態系を保全、再生等していく、「自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組」も取り入れた流域治水プロジェクトを推進する。

凡例

- グリーンインフラの取組
- 改修事業

- 【全域に係る取組】**
- <大阪府、京都府、木津上>
 - ・生態系にも配慮した総合土砂管理の検討
 - <琵琶湖>
 - ・森林整備
 - ・湖辺地のまちづくり
 - ・農地・農業水利施設の整備保全
 - <大阪府、京都府、琵琶湖、木津上、猪名川>
 - ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援



- グリーンインフラの取組**
- 大阪府域分会、京都府域分会 : 『ワンドなど変化に富んだ多様な生息環境の保全・再生』
 - 琵琶湖（滋賀県域）分会 : 『水辺環境の創出などによる人と自然環境のより良い関係の構築』
 - 木津川上流分会 : 『淀川の水と緑がくみあう流域治水対策』
 - 猪名川分会 : 『多様な生物が生息する人々と連携した河川環境の回復』



- 自然環境の保全・復元などの自然再生**
- <大阪>・干潟再生、ヨシ原保全・再生、ワンド保全・再生
 - <猪名川>・動植物の生息環境確保に向けたレキ河原と簡易魚道の保全
 - <琵琶湖>・ヨシ帯再生、瀬・淵再生、希少種保全（ビワマスの繁殖環境の整備）、水質改善（植生護岸工、植生浄化池等）、湖岸保全（砂浜浸食対策：突堤、養浜等）、内湖再生

- 健全な水循環系の回復**
- <琵琶湖>水質改善（植生護岸工、植生浄化池等）

- 治水対策における多自然川づくり**
- <大阪>・生物の生息・生育環境の保全再生、魚がのぼりやすい川への再生
 - <京都>・生物の生息・生育・繁殖環境の保全再生、復元及び創出、ワンド保全・再生、魚がのぼりやすい川への再生、砂州保全、水際部の復元及び創出、河畔林の保全
 - <木津上>上下流の連続性の回復、遊水地と本川の連続性の回復、生物の多様な生育環境の保全・再生
 - <猪名川>・上下流の連続性確保に向けた簡易魚道の保全・改良、水際環境確保に向けた水陸移り帯の保全、ならかな浅場の創出に向けた湿地環境の保全
 - <琵琶湖>・多自然型護岸工（環境護岸工）、水制工・バープエ、希少種保全（ビワマスの繁殖環境の整備）

- 魅力ある水辺空間・賑わい創出**
- <京都>和東町木津川がまちづくり、河川景観の保全
 - <木津上>名張かわまちづくり

- 自然環境が有する多様な機能活用の取組**
- <大阪、京都>・淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全、河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携、小中学校における河川環境学習の実施、住民団体と連携した水生生物調査の実施
 - <大阪>・城北わんどイタセンパラ協議会による密漁防止パトロール、住民と連携した外来生物駆除
 - ・環境に配慮した水位操作、室屋川流域協議会の連携による水環境改善の取組み
 - <木津上>・牧草等に活用される刈草ロールの配布、小中学生による水生生物調査
 - ・河川レンジャー制度を活用した環境学習、水辺の楽校を活用した環境学習、ヤギを活用した除草
 - <猪名川>・小中学校などにおける河川環境学習、水環境パネル展の開催、ヒメボタル幼虫調査、観察会の実施
 - ・地域活動団体等と連携・協働した外来種であるアレチウリ駆除活動の実施
 - ・地域協力団体と連携したアユの産卵場整備体験学習
 - <琵琶湖>・多様な主体の参画による外来生物の駆除、地域や小中学校と連携した環境学習、固有種産卵繁殖場の保全、SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。各エリアの詳細については、別途分会資料を参照ください。
 ※他の事業者の計画も見直されれば、その内容をプロジェクトに反映します。
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

淀川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

【全体版】

～流域人口1,100万人の「淀川市民」の命を守る治水対策の推進～

●淀川水系では治水安全度の著しく低い桂川の河道掘削等を推進しつつ、淀川本川も含めて全川の水位を下げる川上ダム建設や天ヶ瀬ダム再開発等による洪水調節機能の向上や本川の水位を低下させる阪神なんば線の架替を進め、淀川本川の治水安全度を堅持しつつ、中上流部の治水安全度の向上を図る。また、大阪都市圏を抱える下流においては、近年頻発する超過洪水への対応や避難高台等にも活用できる高規格堤防の整備を推進し、水害リスクの軽減を図る。

【短期】川上ダム建設や天ヶ瀬ダム再開発等による流量低減対策の推進と併せて中上流部の河川改修を推進する。下流部では堤防強化や高規格堤防整備事業による質的強化を図る。あわせて、下水道整備による浸水対策や流出抑制対策（雨水貯留施設等）、立地適正化計画の見直し・策定による土地利用誘導の被害対象、避難に資するマップ等の整備・充実・周知等のソフト対策を実施。

【中期】阪神なんば線架替事業を完成させるとともに、中上流部の河川改修と高規格堤防整備事業の推進を図る。あわせて、下水道整備による浸水対策や流出抑制対策（雨水貯留施設等）、避難に資するマップ等の更なる整備・充実・周知等のソフト対策を実施。

【長期】中上流部の河川改修の推進と高規格堤防整備事業の推進を図る。あわせて、下水道整備による浸水対策や流出抑制対策（雨水貯留施設等）、避難に資するマップ等の更なる整備・充実・周知等のソフト対策を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備・河道掘削・橋梁架替、閘門新設等	国土交通省、流域府 県市町村 等	名張黒田地区引堤 (国土交通省)	淀川大堰閘門新設完成 (国土交通省)	阪神なんば線橋梁架替完成 (国土交通省)
	ダム建設	国土交通省 水資源機構 大阪府 等	川上ダム完成 (水資源機構)	安威川ダム完成 (大阪府)	JR高槻駅北雨水貯留施設整備完成 (高槻市) 楠葉排水区雨水貯留管等整備完成 (枚方市)
	流出抑制対策 (調整池・ため池等)	高槻市、枚方市 等	天ヶ瀬ダム再開発完成 (国土交通省)		
	流域下水道(雨水)管渠の整備・老朽化対策	流域府県 市町村 等		大戸川小田排水機場の整備(伊賀市)	
	砂防堰堤による土砂等の流出抑制対策	国土交通省、流域府 県市町村 等		立地適正化計画の見直し (豊中市)	立地適正化計画の策定 (長岡京市)
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画策定等	長岡京市、豊中市、高槻市、八尾市 等	居住誘導区域見直し及び防災指針策定 (高槻市、八尾市)	SOS避難メソッド等を掲載した防災ブック作成(摂津市)	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難に資するマップ等の整備・充実・周知	国土交通省、流域府 県市町村 等	要配慮者利用施設の避難確保計画策定 (枚方市、京田辺市)	多機関連携型タイムライン(淀川広域)の策定・コミュニティタイムラインの策定支援 (高槻市)	

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

■グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

<p>■河川対策 全体事業費 約14,392億円 ※1 対策内容 河道掘削、養埒、高規格堤防 等</p> <p>■砂防対策 全体事業費 約 1,29億円 ※2 対策内容 砂防堰堤の整備 等</p> <p>■下水道対策 全体事業費 約5,513億円 ※3 対策内容 流域下水道(雨水)管渠の整備、雨水ポンプの増強 等</p>

淀川水系流域治水プロジェクト 水系全体【ロードマップ】

【全体版】

～流域人口1,100万人の「淀川市民」の命を守る治水対策の推進～

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
グリーンインフラの取組	自然環境の保全・復元などの自然再生	国土交通省、滋賀県、流域市町村 等	ワンド保全・再生、ヨシ原保全・再生 等		
	健全な水循環系の回復	滋賀県 等	水質改善 等		
	治水対策における多自然川づくり	国土交通省、水資源機構、流域府県市町村 等	生物の生息・生育環境の保全再生 等		
	魅力ある水辺空間・賑わい創出	国土交通省 等	かわまちづくり、景観保全 等		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組	国土交通省、流域府県市町村 等	環境学習等ソフト施策に関する取組		
	各分会全域に係る取組	国土交通省、流域府県市町村 等	森林保全整備、総合土砂管理 等		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

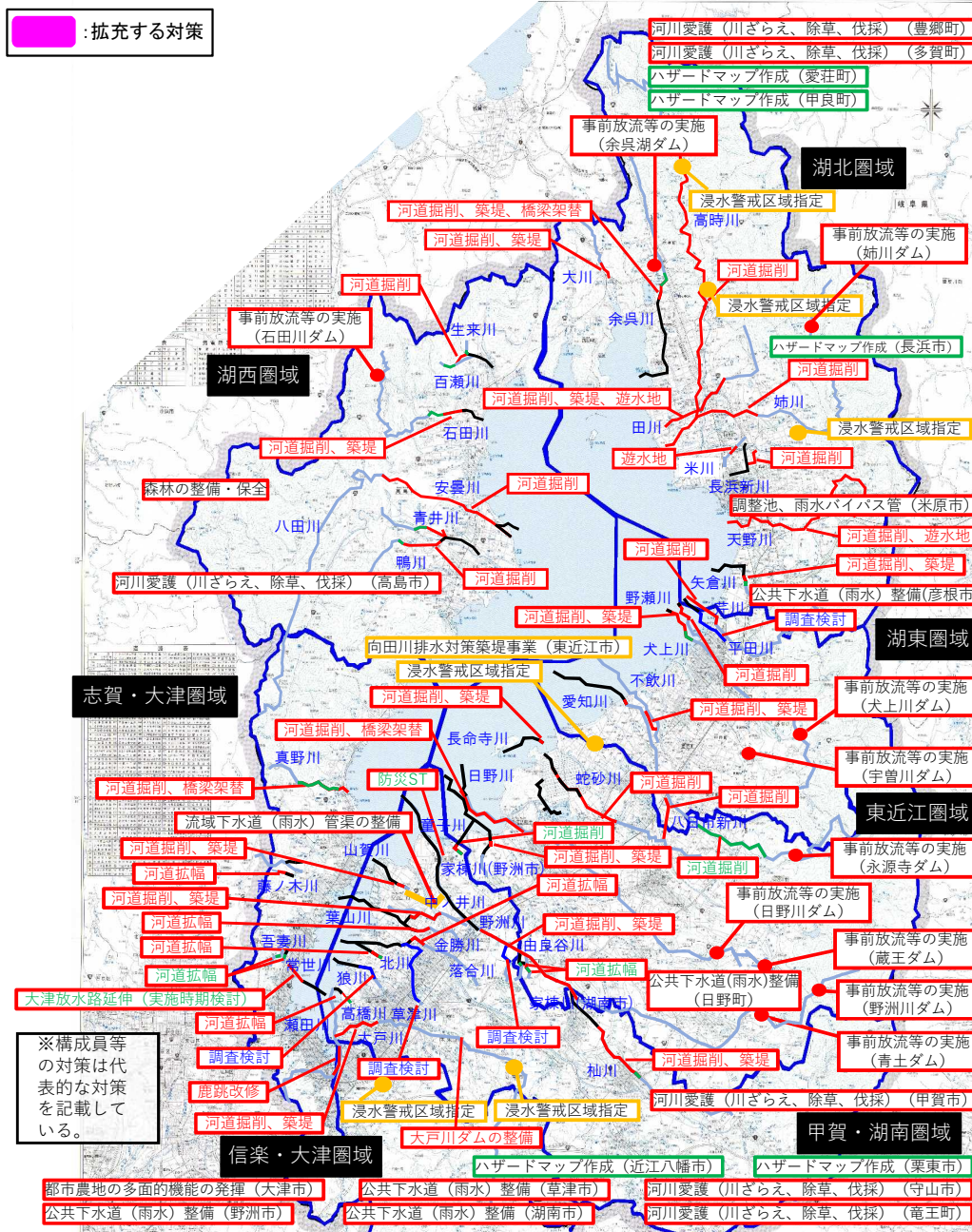
琵琶湖分会

淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖(滋賀県域)分会【位置図】

～琵琶湖流域人口141万人の「滋賀県民」の命を守る治水対策の推進～

○近年、気候変動の影響等により各地で激甚な災害が発生したことを踏まえ、琵琶湖流域においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

○: 拡充する対策



※構成員等の対策は代表的な対策を記載している。

内水浸水リスクマネジメント推進事業 (滋賀県、長浜市、草津市、栗東市、米原市)

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○: 拡充する対策
 赤: 整備実施区間 緑: 整備時期検討区間 青: 調査検討区間

- 洪水氾濫対策**
- 志賀・大津圏域 藤ノ木川(河道拡幅)、真野川(河道掘削・橋梁架替)、大津放水路(延伸(実施時期検討))、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 - 信楽・大津圏域 大戸川(河道掘削・築堤、大戸川ダム)、高橋川(河道拡幅)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 - 甲賀・湖南圏域 野洲川(河道掘削・築堤)、山賀川(河道掘削・築堤)、葉山川(河道拡幅)、中ノ井川(河道掘削・築堤)、金勝川(河道拡幅)、北川(河道拡幅)、柚川(河道掘削・築堤)、家棟川(野洲市)(河道掘削・築堤)、家棟川(湖南市)(河道掘削)、由良谷川(河道拡幅)、童子川(河道掘削)、落合川(調査検討)、草津川(調査検討)、狼川(調査検討)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 - 東近江圏域 長命寺川(河道掘削・築堤)、日野川(河道掘削・橋梁架替)、八日市新川(河道掘削)、蛇砂川(河道掘削)、愛知川(河道掘削)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 - 湖東圏域 大上川(河道掘削・築堤)、不飲川(河道掘削・築堤)、芹川(河道掘削)、野瀬川(河道掘削)、矢倉川(河道掘削・築堤)、平田川(調査検討)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 - 湖北圏域 余呉川(河道掘削・築堤・橋梁架替)、長浜新川(河道掘削)、姉川・高時川(河道掘削)、大川(河道掘削・築堤)、田川(河道掘削・築堤、遊水地)、天野川(河道掘削、遊水地)、米川(遊水地)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 - 湖西圏域 安曇川(河道掘削)、石田川(河道掘削・築堤)、鴨川(河道掘削)、百瀬川(河道掘削)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
- 内水氾濫対策**
- 流域下水道(雨水)管渠の整備 ○ 公共下水道(雨水)管渠等の整備 ○ 琵琶湖沿岸の内水排除
- 土砂災害対策**
- 砂防関係施設の整備
- 流水の貯留機能の拡大**
- 既存ダムを活用した事前放流等の実施
- 流域の雨水貯留機能の向上**
- 雨水貯留施設の整備 ○ 開発行為に伴う調整池の設置 ○ 森林の整備・保全 ○ 治山対策
 - 農地・農業水利施設の整備・保全 ○ ため池の整備・保全
- 既存管理施設の適切な維持管理**
- 老朽化対策 ○ 耐震対策

■ 被害対象を減少させるための対策

- 水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫**
- 市街化区域新規編入時の土地利用誘導の実施 ○ 浸水警戒区域指定による建築規制の実施
 - 浸水警戒区域内での高上げ等安全な住まい方の支援
 - まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実
 - 地先の安全度マップによる想定浸水深の公表、更新 ○ ハザードマップの作成 ○ 内水浸水リスクマネジメント推進事業
 - 水害リスクマップの作成
- 浸水範囲の限定・氾濫水の制御**
- 市町における浸水対策事業
- 安全な避難先の確保**
- 避難先、避難場所等の整備

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 土地の水災害リスク情報の充実**
- 水害履歴調査結果の公表 ○ 地先の安全度マップによる想定浸水深の公表、更新
- あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供**
- 自治会や小学校等での水害出前講座の実施 ○ 河川水位計や河川防災カメラの設置と情報提供 ○ 簡易量水標の設置
 - 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
- 避難体制等の強化**
- 特に水害リスクの高い地区における避難計画作成支援 ○ 避難に資するマップ等の整備・拡充
 - 避難指示等の判断・伝達マニュアルの整備 ○ 広域的な避難計画等の策定支援
 - 要配慮者利用施設における避難計画等の策定及び避難訓練の実施 ○ 避難行動に資する情報発信等の充実
 - 自治会等における避難計画および避難行動要支援者の個別避難計画の策定支援
 - ハザードマップ、マイ・タイムラインの作成 ○ 気候変動等を踏まえた気象観測・予測の高度化、監視の強化
 - 防災士の養成支援
- 関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化**
- 河川防災ステーション(水防拠点)整備 ○ 被災自治体に対する支援

■ グリーンインフラの取り組み 詳細別紙

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。
 ※各事業者の計画が変更された場合にはその内容を反映します。
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖(滋賀県域)分会【位置図】

～琵琶湖流域人口141万人の「滋賀県民」の命を守る治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『水辺環境の創出などによる人と自然環境のより良い関係の構築』

○日本最大の湖である琵琶湖は、多様な生物が生息する他、下流域や湖周辺の暮らしを支える水資源であり、多くの河川が流入する一方で流出河川は瀬田川のみといった特性を有する。
○滋賀県域においては、今後20年間でヨシ帯再生等の自然環境の保全・復元などの自然再生や、植生護岸等の水質改善対策による健全な水循環系の回復に取り組む。また、小中学校と連携した環境学習や外来生物の駆除など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。

■ : 拡充する対策

- 自然環境の保全・復元などの自然再生
 - ・ヨシ帯再生
 - ・瀬・淵再生
 - ・希少種保全（ビワマスの遡上・繁殖環境の整備）
 - ・水質改善（植生護岸工、植生浄化池等）
 - ・湖岸保全（砂浜浸食対策：突堤、養浜等）
 - 内湖再生

瀬・淵の再生



ヨシ帯再生



希少種保全（鋼製魚道）



湖岸保全（砂浜侵食対策：突堤）



湖岸保全（砂浜侵食対策：養浜）



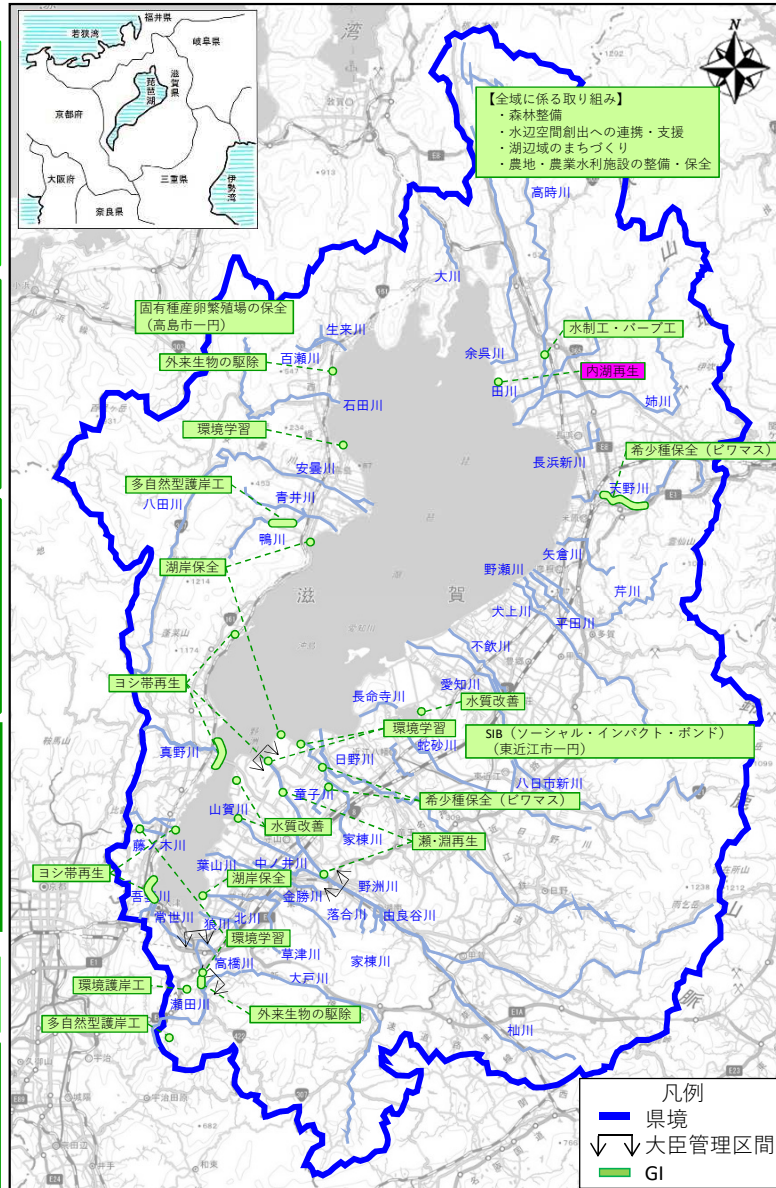
●健全な水循環系の回復

- ・水質改善（植生護岸工、植生浄化池等）

水質改善（植生護岸工）



水質改善（植生浄化池等）



- 多自然川づくり（改修・維持事業等）
- ・多自然型護岸工・環境護岸工
- ・水制工・バープエ
- ・希少種保全（ビワマスの遡上・繁殖環境の整備）

多自然型護岸工



環境護岸工



希少種保全（産卵床造成）



バープエ



●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・多様な主体の参画による外来生物の駆除
- ・地域や小中学校と連携した環境学習
- ・固有種産卵繁殖場の保全
- ・SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）

外来生物の駆除



小中学校と連携した環境学習



●全域に係る取組

- ・水辺空間創出への連携・支援
- ・森林整備
- ・湖辺域のまちづくり
- ・農地・農業水利施設の整備・保全

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖(滋賀県域)分会【ロードマップ】

～琵琶湖流域人口141万人の「滋賀県民」の命を守る治水対策の推進～

●琵琶湖流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町等が一体となって、「流域治水」を推進する。

【短期】洪水を安全に流下させるため、河道掘削、堤防整備を主に実施すると共に、安全なまちづくりや内水被害軽減対策などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を実施。

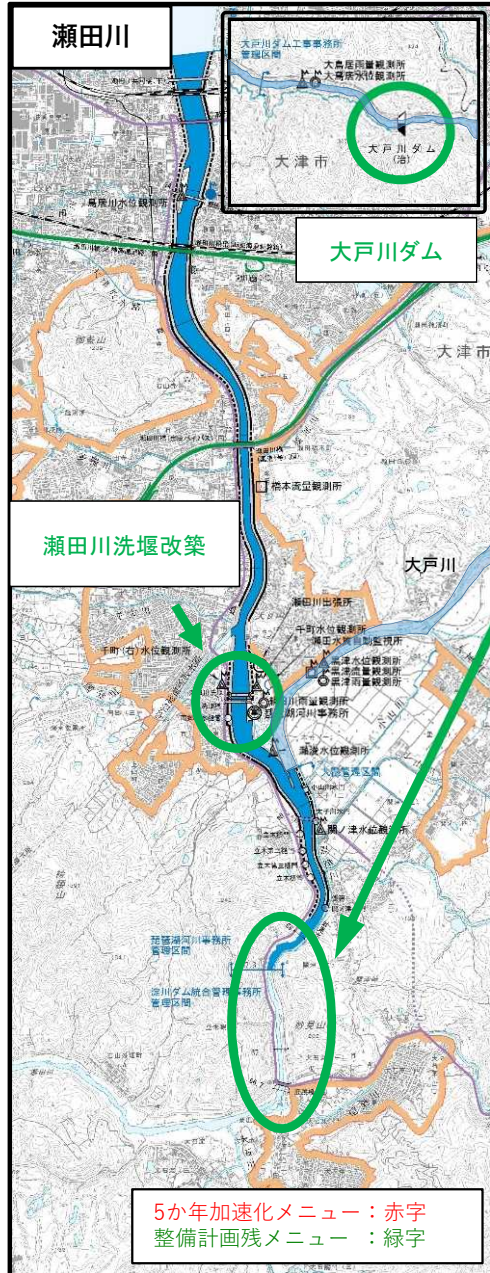
【中長期】大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、大戸川ダムを含む河川整備や流出抑制対策を実施し、あわせて、安全なまちづくりや内水被害軽減対策などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を継続実施する事により流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">: 拡充する項目</div> 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	琵琶湖河川事務所、滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、守山市、甲賀市、湖南市、高島市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町、大戸川ダム工事事務所	山賀川 河道掘削・築堤完了	日野川 JR橋架替完了
	内水氾濫対策	滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東近江市、米原市、日野町、愛荘町、豊郷町、多賀町、琵琶湖開発総合管理所	流域下水道守山栗東雨水幹線完了	姉川・高時川 河道掘削完了
	土砂災害対策	滋賀県		
	流水の貯留機能の拡大	近畿農政局、滋賀県、甲賀市、湖南市、栗東市、守山市、野洲市、等	淀川水系治水協定の運用中	
	流域の雨水貯留機能の向上	滋賀森林管理署、森林整備センター、滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、守山市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町		
	既存管理施設の適切な維持管理	琵琶湖河川事務所、琵琶湖開発総合管理所、等		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける 土地利用・住まい方の工夫	滋賀県、大津市、近江八幡市、守山市、甲賀市、東近江市、米原市、愛荘町	瀬田川洗堰耐震対策完了	
	まちづくりでの活用を視野にした 土地の水災害リスク情報の充実	滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町	浸水警戒区域内での建築制限、嵩上げ等支援の実施中	地先の安全度マップの更新中
	浸水範囲の限定・氾濫水の制御	東近江市		ハザードマップの更新
	安全な避難先の確保	滋賀県	向田川排水対策築堤事業完了	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	滋賀県	出前講座等実施中	地先の安全度マップ(令和6年度末更新、その後概ね5年ごとに更新)
	あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	琵琶湖河川事務所、滋賀県、高島市、東近江市、米原市		
	避難体制等の強化	近畿地方環境事務所、彦根地方気象台、滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町	要配慮者利用施設における避難計画の作成完了	
	関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	近畿地方整備局、琵琶湖河川事務所、等	TEC-FORCE等実施中	
グリーンインフラの取組	自然環境の保全・復元などの自然再生、健全な水循環系の回復	琵琶湖河川事務所、滋賀県、大津市、野洲市、高島市、米原市	ヨシ帯再生実施中	
	治水対策における多自然川づくり	滋賀県、大津市、野洲市、米原市	水質保全実施中	希少種保全実施中
	自然環境が有する多様な機能活用の取組み	琵琶湖河川事務所、滋賀県、大津市、野洲市、高島市、東近江市、琵琶湖開発総合管理所	外来生物駆除・環境学習実施中	多自然型護岸工完了
	全域に係る取組み	琵琶湖河川事務所、滋賀県、林野庁	固有種産卵繁殖場の保全実施中	湖辺域のまちづくり計画中

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。
 ※各事業者の計画が変更された場合にはその内容を反映します。
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

凡例 点線：対策（工事）中、対策計画等作成中
 実線：対策（工事）完了、対策計画等に基づく行動

短期整備(5カ年加速化対策)効果 : 河川整備率 約68%→約77%



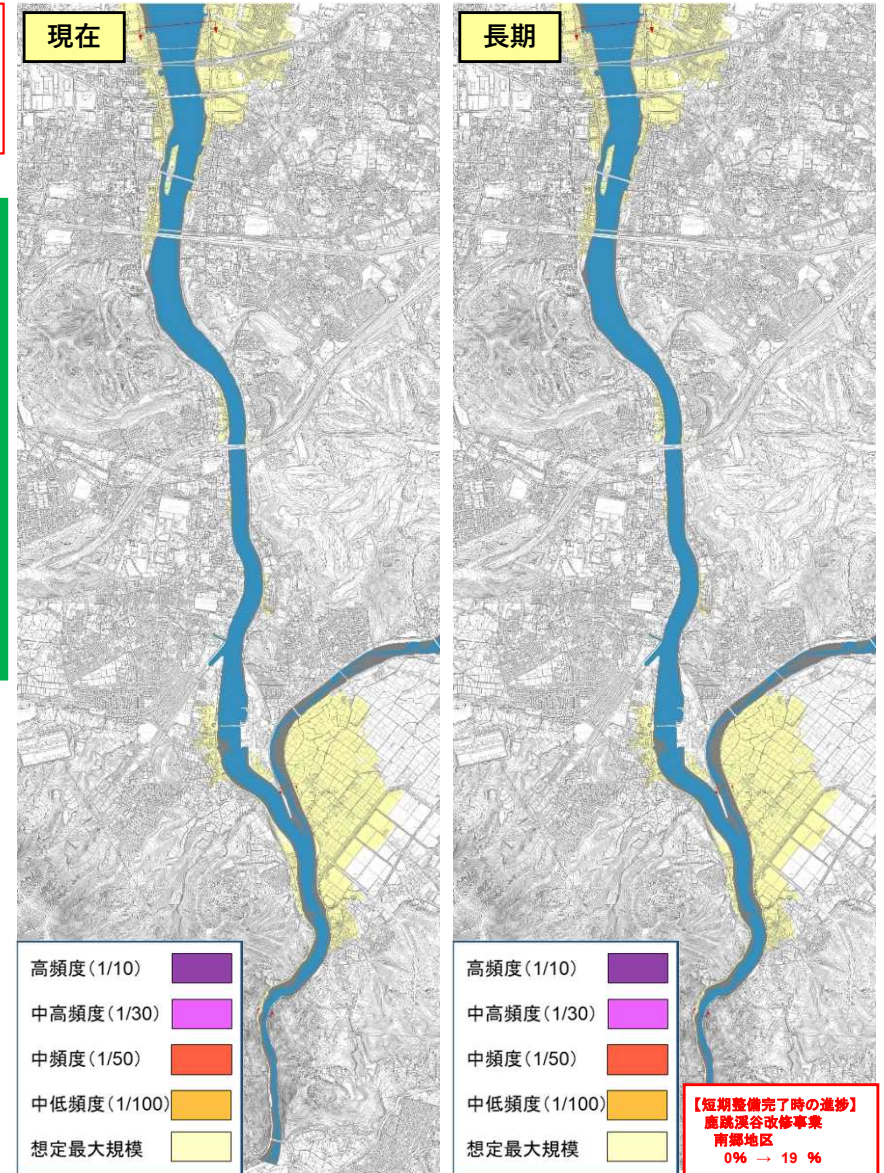
瀬田川において、流下能力の向上を図るため、河川整備計画の変更を経て、鹿跳溪谷改修事業に着手。



【河川整備率 約68%→約77%】

区分	対策内容	区間	工程	
			短期(R2~R7年)	中長期(R8~R34)
関連事業			▼大雨開発完了	▼大戸川ダム完了
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	鹿跳溪谷改修	瀬田川 南郷地区	R3	100%
	瀬田川洗堰改築	瀬田川 黒津地区		100%
	堤防浸透対策	野洲川 新庄地区	100%	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	河川防災ステーション(水防拠点)整備	野洲川 三上地区		100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載している。



※この図は、河川の長期計画(河川整備基本方針)で計画対象としている1/100確率年の水位又は降雨、及びその水位又は降雨を1/10,1/30,1/50の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合がある。
※国直轄区間からの外水氾濫のみを想定したものであり、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。

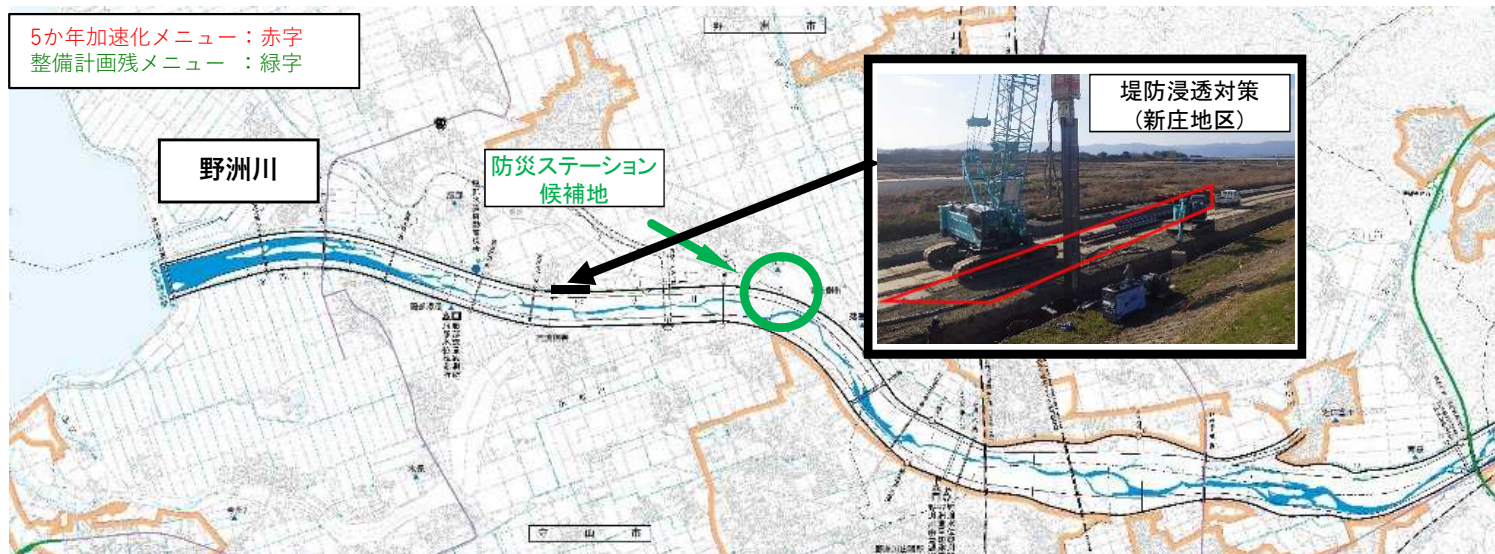
淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖(滋賀県域)分会【事業効果(国直轄区間)の見える化】

～琵琶湖流域人口141万人の「滋賀県民」の命を守る治水対策の推進～

短期整備(5カ年加速化対策)効果 : 河川整備率 約68%→約77%

野洲川において、被害の軽減、早期復旧・復興の対策を図るため、河川防災ステーションの検討・整備を実施。

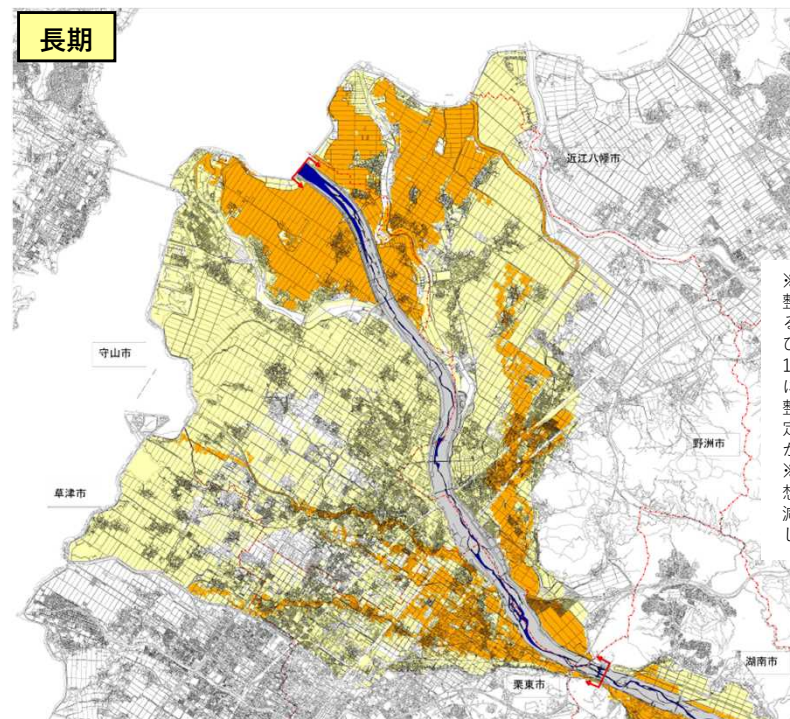
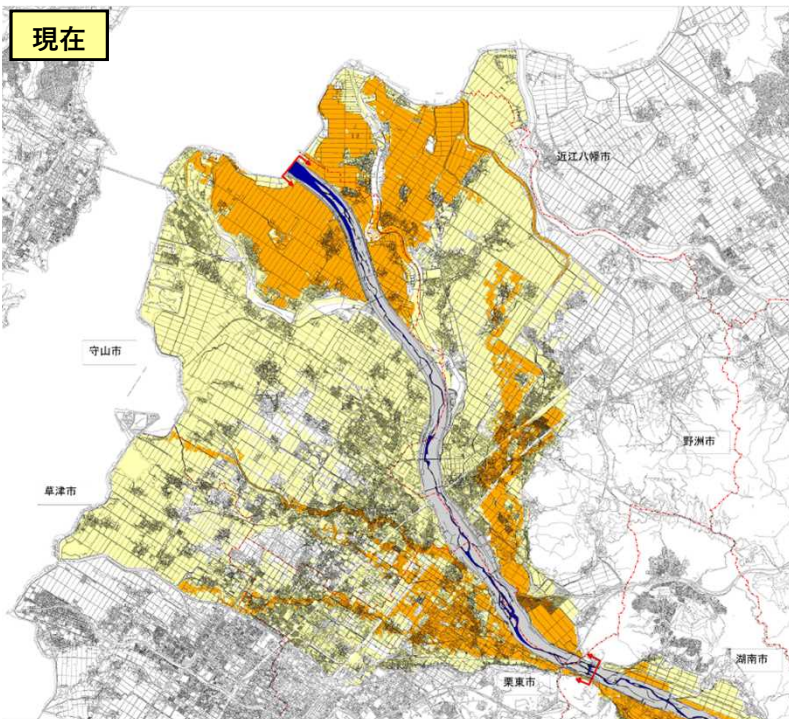
5カ年加速化メニュー：赤字
整備計画残メニュー：緑字



【河川整備率 約68%→約77%】

区分	対策内容	区間	工程	
			短期 (R2~R7年)	中長期 (R8~R34)
関連事業			▼大雨開発完了	▼大戸川ダム完了
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	鹿跳溪谷改修	瀬田川 南郷地区	R3	100%
	瀬田川洗堰改築	瀬田川 黒津地区		100%
	堤防浸透対策	野洲川 新庄地区	100%	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	河川防災ステーション(水防拠点)整備	野洲川 三上地区		100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載。



※この図は、河川の長期計画(河川整備基本方針)で計画対象としている1/100確率年の水位又は降雨、及びその水位又は降雨を1/10,1/30,1/50の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合がある。
※国直轄区間からの外水氾濫のみを想定したものであり、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。

【短期整備完了時の進捗】
河川防災ステーション(水防拠点)整備
三上地区
0% → 0%

淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖(滋賀県域)分会【流域治水の具体的な取組】

～琵琶湖流域人口141万人の「滋賀県民」の命を守る治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：77%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



39市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



221施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 64箇所
（令和4年度実施分）

砂防関係施設の
整備数 7施設

（令和4年度完成分）
※施工中 29施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



9市町村

（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 186河川

（令和4年9月末時点）
※一部、令和4年3月末時点

内水浸水想定
区域 7団体

（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 14,088施設
土砂 906施設

（令和4年9月末時点）

個別避難計画 44市町

（令和5年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

洪水氾濫対策



河川改修・維持管理



瀬田川鹿跳溪谷改修

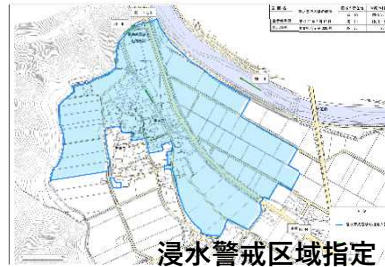
内水氾濫対策



雨水幹線整備

被害対象を減少させるための対策

土地利用・住まい方の工夫



浸水警戒区域指定



宅地嵩上げ等への支援

水害リスク情報の充実



地先の安全度マップの公表

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

水災害リスク情報の充実



水害履歴調査

水災害リスク情報の提供



出前講座

避難体制等の強化



図上訓練

※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。 ※淀川水系全体の指標の数値を記載しています。

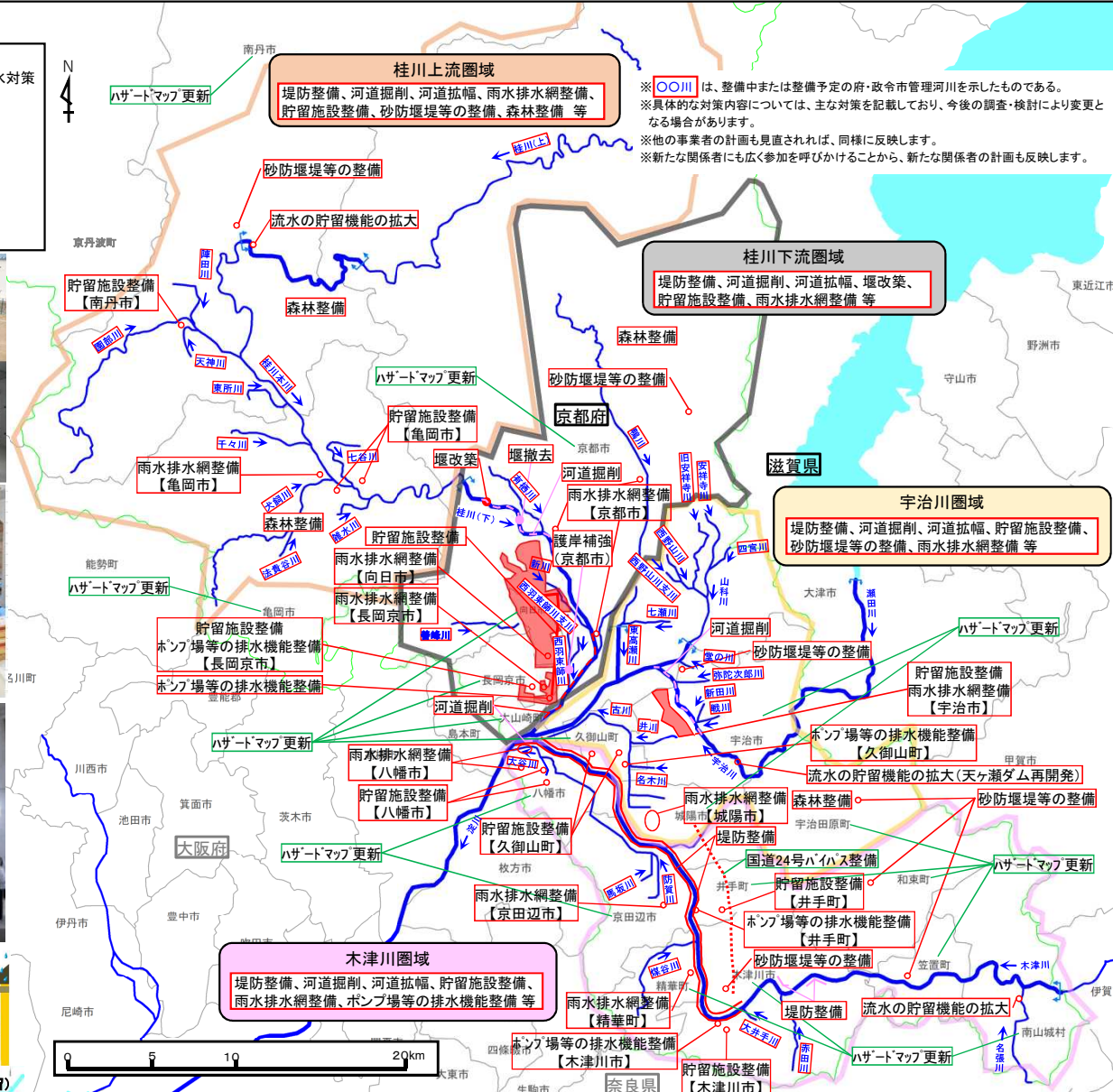
淀川（京都府域）分会

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【位置図】

～みず・ひと繋る古都を支える流域対策の推進～

- 京都府域では、宇治川、木津川、桂川が1箇所で合流する三川合流点が存在。
- 三川合流点の上流では、合流点の高い水位によるバックウォーター現象から、各河川において、水位が高く洪水が流れにくい状態となるため、内水河川からの排水が困難となり、近年洪水でも内水被害が発生。
- このため、三川合流点への流量の低減や合流時間を分散させ、バックウォーター現象を抑制する対策等を実施する。

- 凡例
- 大臣管理区間
 - 堤防整備
 - 河道掘削
 - 堰改築、堰撤去
 - 県境
 - 市町村境
 - 貯留施設整備
 - 雨水排水網整備等
 - 道路整備
 - 拡充する治水対策



※〇〇川は、整備中または整備予定の府・政令市管理河川を示したものである。
 ※具体的な対策内容については、主な対策を記載しており、今後の調査・検討により変更となる場合があります。
 ※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
 - ・堤防整備、河道掘削、堰改築、堰撤去、護岸補強
 - ・砂防堰堤等の整備
 - ・雨水排水網整備、ポンプ場等の排水機能整備
 - ・天ヶ瀬ダム再開発
 - ・流水の貯留機能の拡大
 - ・堆積土砂撤去
 - ・河川管理施設等の老朽化対策
 - ・河道内樹木の伐採
 - ・森林整備
 - ・ため池等の整備、貯留施設整備
 - ・開発行為に伴う調整池の設置
 - ・各家庭等における雨水貯留施設整備への助成 等

- 被害対象を減少させるための対策**
 - ・立地適正化計画策定
 - ・条例等に基づき計画している安全なまちづくり
 - ・水害リスクマップの作成

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
 - ・地区タイムラインの活用
 - ・広域避難計画の策定
 - ・要配慮者避難確保計画等の作成、支援
 - ・ハザードマップ更新
 - ・マイ・防災マップ、マイ・タイムラインの作成支援
 - ・まるごとまちごとハザードマップの整備
 - ・分かりやすい防災気象情報の提供
 - ・VR・AR等を用いた情報発信
 - ・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施
 - ・避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実
 - ・「局地的豪雨探知システム」の活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定
 - ・災害救援に寄与する浸水エリア外の道路ネットワーク整備

■グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

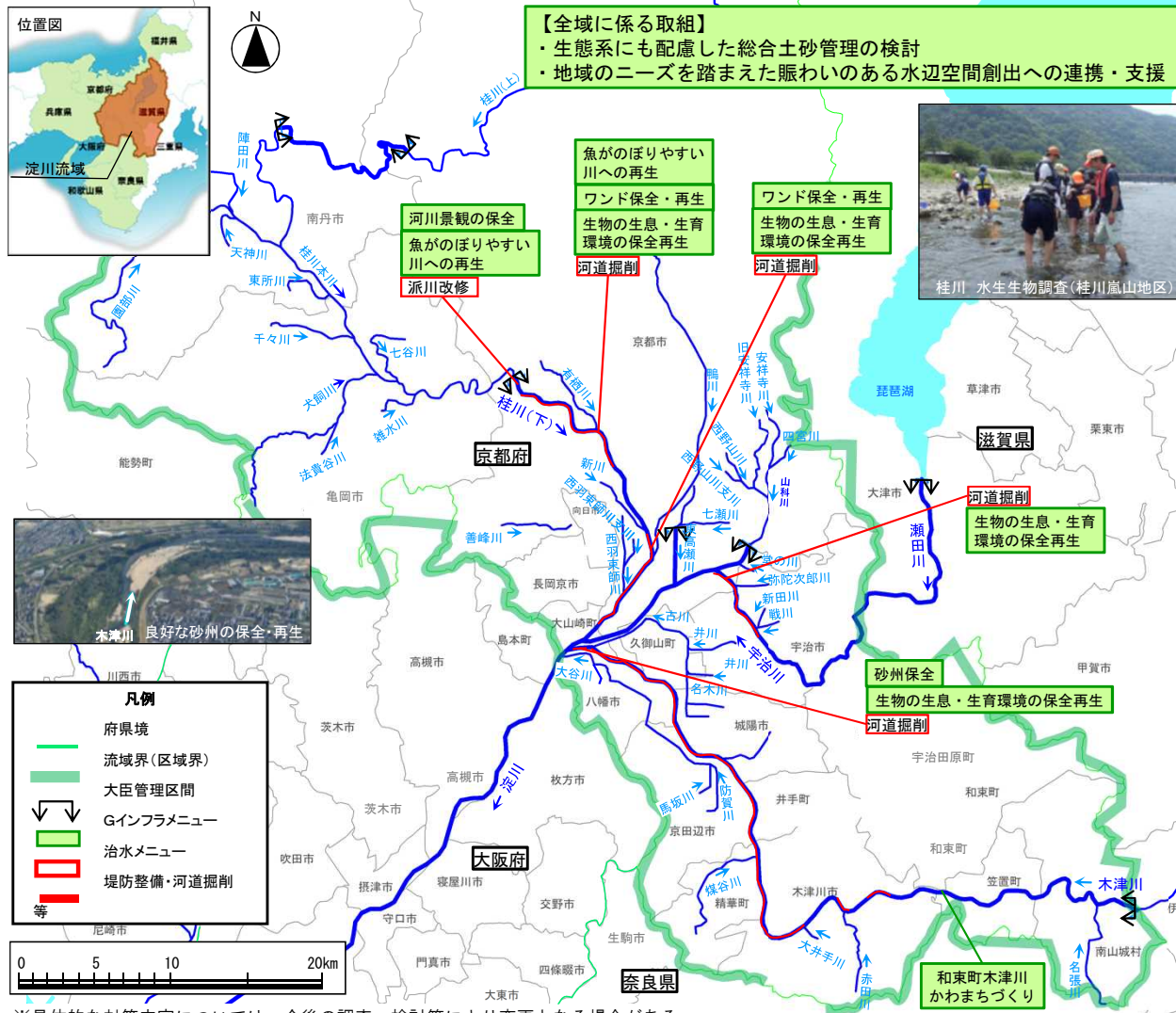


淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(京都府域)分会 【位置図】

～みず・ひと繋る古都を支える流域対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『ワンドなど変化に富んだ多様な生息環境の保全・再生』

- 宇治川のヨシ原や礫床、木津川の砂州河原に点在するたまりや瀬と淵、桂川の流水域と湛水域が連続する環境やワンドなどの環境に応じて、オオヨシキリをはじめとする鳥類やナカセコカワニナ、タナゴ類やヨドゼザラなどの魚介類といった、次世代に引き継ぐべき多様な生態系が存在する。
- 水辺にワンドやたまりが数多く存在し、水位の変動によって冠水・攪乱される区域が広範囲に存在し、変化に富んだ地形と固有種を含む多様な生態系を残すことを目標に、今後概ね20年間でヨドゼザラの模式産地であるワンドや魚がのぼりやすい川を整備するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

●治水対策における多自然川づくり
生物の生息・生育環境の保全再生、ワンド保全・再生、魚がのぼりやすい川への再生、砂州保全

●魅力ある水辺空間・賑わい創出
和東町木津川かわまちづくり、河川景観の保全

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全
- ・河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携
- ・小中学校における河川環境学習の実施
- ・住民団体と連携した水生生物調査の実施



淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【ロードマップ】

～みず・ひと^よける古都を支える流域対策の推進～

- 淀川水系(京都府域)の宇治川、木津川、桂川では上下流・本支川の流域全体を俯瞰しつつ国、府、市町村が一体となって「流域治水」を推進する。雨の降り方次第で、三河川が同時にピーク流量を迎えることもあり、その際は三川合流点流れにくく、各支川の水位上昇を助長する。このため、淀川水系中流域では三川合流点への到達流量を低減、水位低下を図る流域治水対策が重要であり、以下の手順にて推進する。
- 【短期】桂川と宇治川において河道掘削等を実施するとともに、天ヶ瀬ダム再開発及び川上ダムを完成させる。
- 【中期】引き続き桂川と宇治川において河道掘削等を実施するとともに、桂川の堰撤去と木津川の無堤区間の堤防整備に着手する。
- 【長期】河川整備計画で目標としている洪水を安全に流下させるため、引き続き河道掘削等を実施し、流域全体の安全度の向上を図る。
- あわせて、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（雨水排水網、貯留施設の整備等）などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、堰撤去	淀川河川事務所 京都府 京都市	宇治川・桂川・木津川 河道掘削完了 (淀川河川事務所)			
	流水の貯留機能の拡大	淀川ダム統合管理事務所 琵琶湖河川事務所 大戸川ダム工事事務所 水資源機構	天ヶ瀬ダム再開発完成 (琵琶湖河川事務所) 川上ダム完成 (水資源機構)			
	雨水排水網整備 貯留施設整備 (下水道浸水対策事業含む) 等	京都府 久御山町、城陽市、向日市、亀岡市、 大山崎町、京都市、宇治市、八幡市、井 手町、京田辺市 等	【貯留施設整備】 遊水機能を有した公園整備 (亀岡市)	【雨水排水網整備】 排水路整備事業 (京田辺市)	【雨水排水網整備】 公共下水道施設整備事業 (宇治市)	
被害対象を減少させるための対策	「安全なまちづくり」に向けた 取り組み（立地適正化計画策定）	長岡京市 等	【貯留施設整備】 雨水調整池の整備 (久御山町)	計画変更 (長岡京市)	【雨水排水網整備】 下水道床上浸水対策事業 (京都市)	【貯留施設整備】 雨水貯留施設設置 (城陽市)
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップ作成・更新 まるとまちごとハザードマップ の整備、避難体制等の強化 等	気象庁、環境省 京都府、京都市、 木津川市、京田辺市、精華町、宇治田原 町、和束町、笠置町、南山城村 等	避難所標識板の設置 (木津川市)	局地的豪雨探知システムの利活用促進と ゲリラ豪雨対策アクションプランの策定 (環境省)		
	災害救援に寄与する浸水エリア外の 道路ネットワーク整備	京都国道事務所	要配慮者避難確保計画の策定 (京田辺市)			

気候変動
を踏まえた
更なる対策
を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【ロードマップ】

～みず・ひと^よと繋る古都を支える流域対策の推進～

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
グリーンインフラ の取組	生物の生息・生育環境の保全再生	近畿地方整備局 京都府	生物の生息・生育環境の保全再生		
	ワンド保全・再生	近畿地方整備局	ワンド保全・再生		
	魚がのぼりやすい川への再生	近畿地方整備局	魚がのぼりやすい川への再生		
	砂州保全	近畿地方整備局	砂州保全		
	和束町木津川かわまちづくり	近畿地方整備局	和束町木津川かわまちづくり		
	公共空間の整備	京都府	公共空間の整備		
	河川景観の保全	近畿地方整備局 京都府	河川景観の保全		
	淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全	近畿地方整備局	淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全		
	河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携	近畿地方整備局	河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携		
	小中学校における河川環境学習の実施	近畿地方整備局 京都府	小中学校における河川環境学習の実施		
	住民団体と連携した水生生物調査の実施	近畿地方整備局 京都府	住民団体と連携した水生生物調査の実施		
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。					

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～みず・ひとと共生の古都を支える流域対策の推進～

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約68%→約77%

【宇治川】河道掘削を推進することにより、宇治川の治水安全度の向上。また、大島排水樋門の増設を完了することで、山科川（堂ノ川）木幡地区周辺の浸水被害の軽減を図る。

【桂川】大下津引堤と河道掘削により、近年で危険な水位まで到達した平成16年台風23号規模の洪水を桂川中下流区間で安全に流下させる。

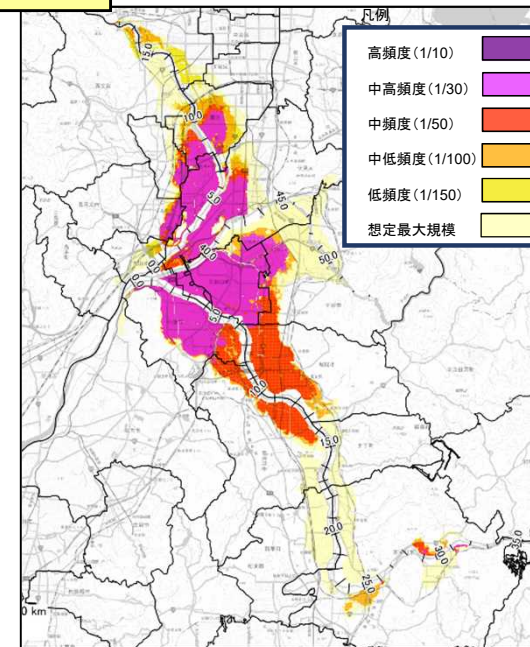
【木津川】木津川全体での堤防強化メニューの完了により、木津川の破堤リスクを軽減。

区分	対応内容	区間	工程		
			短期(R2~R7)	中期(R8~R15)	長期(R16~R34)
関連事業					
氾濫をできるだけ防く・減らすための対策	河道掘削	宇治川	■	■	■
		桂川	■	■	■
		木津川	■	■	■
	堤防整備	桂川	■	■	■
		木津川	■	■	■
	樋門増設	宇治川	■	■	■
	堰改築等	桂川	■	■	■
		大下津地区	■	■	■
	引堤	桂川	■	■	■
	築堤	木津川	■	■	■

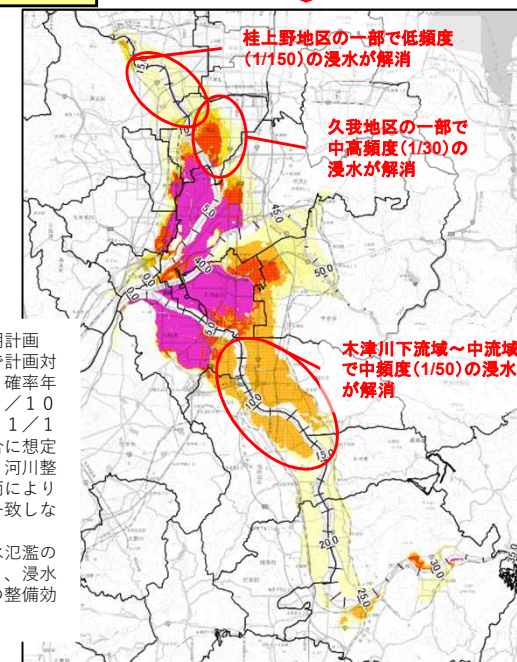
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合があります。
※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載しています。

短期整備完了時の進捗【宇治川】 河道掘削 向島地区 100% 横島地区 20% 樋門増設 大島地区 100%	短期整備完了時の進捗【桂川】 河道掘削 桂上野地区 100% 久我地区 100% 横大路地区 20% 大下津地区 10% 堰改築等 嵐山地区 30% 引堤、旧堤撤去 大下津地区 100% 堤防整備 桂上野地区 100% 久我地区 100%	短期整備完了時の進捗【木津川】 堤防整備 八幡地区 100% 岩田大住地区 100% 神矢地区 100% 菅井地区 100% 吐師地区 100% 船屋地区 100% 富野地区 100% 平尾地区 100% 上粕地区 100%
--	--	---

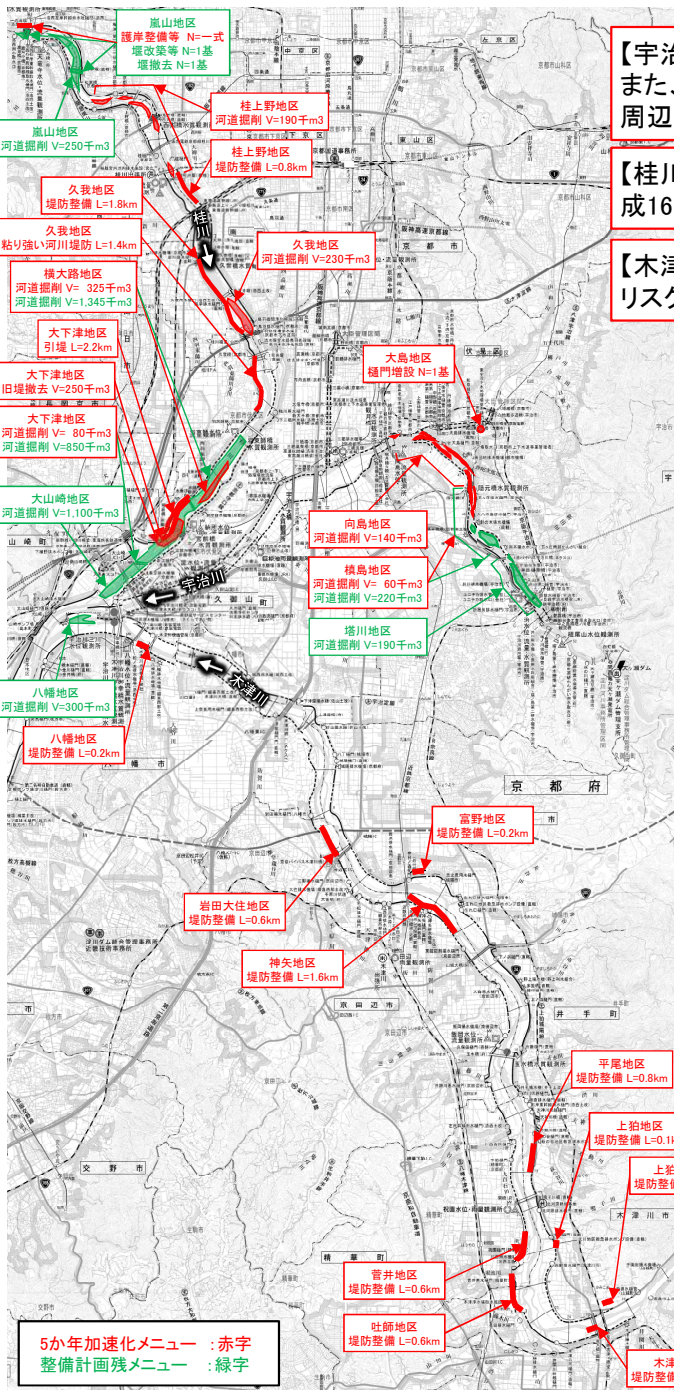
現状



短期



※この図は、河川の長期計画（河川整備基本方針）で計画対象としている1/150確率年の降雨及びその降雨を1/10、1/30、1/50、1/100の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合があります。
※国直轄区間からの外水氾濫のみを想定したものであり、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。



5カ年加速化メニュー：赤字
整備計画残メニュー：緑字

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）



整備率：77%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



39市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



221施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策



治山対策等の実施箇所 64箇所
（令和4年度実施分）

砂防関係施設の整備数 7施設
（令和4年度完成分）

※施工中 29施設

立地適正化計画における防災指針の作成



9市町村

（令和4年12月末時点）

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 186河川

（令和4年9月末時点）
※一部、令和4年3月末時点
内水浸水想定区域 7団体
（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



洪水 14,088施設
避難確保計画 土砂 906施設

（令和4年9月末時点）

個別避難計画 44市町
（令和5年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

遊水機能を有した公園整備計画（亀岡市）



自然共生型の遊水地機能を備えた公園を整備

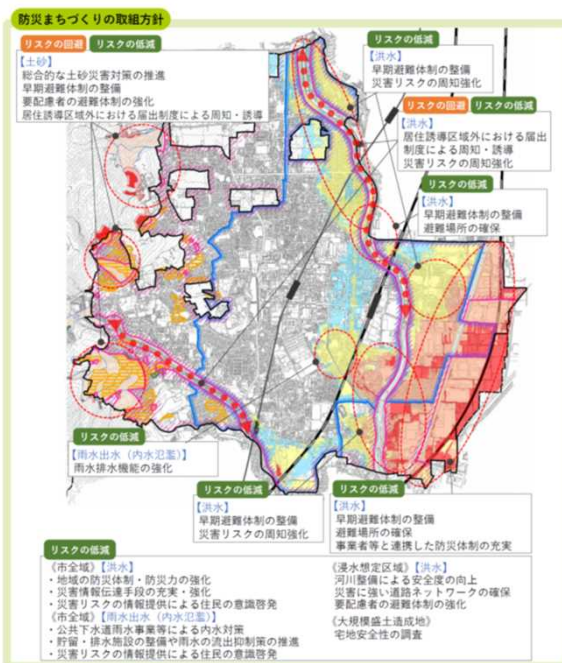
雨水地下貯留施設の整備（京都府）



雨水貯留施設「いろは呑龍トンネル」の整備により、桂川右岸地域の浸水対策を実施する。

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画の見直し（長岡京市）



- ・「居住誘導区域」「都市機能誘導区域」の見直し
- ・防災指針を追加し、災害リスクを出来る限り回避、低減させるために必要な取り組みを具体的に提示

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

想定浸水深ラッピングによるまらまちHMの高度化（木津川市）



マイ防災マップによる地域防災力の向上（京田辺市）



※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。

※淀川水系全体の指標の数値を記載しています。

淀川（大阪府域）分会

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会 【位置図】

～ 滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

- 大阪府域では複数河川が低平地を貫流しており、下流部では人口・資産が集積したゼロメートル地帯が大坂湾へ向けて広がることから洪水、津波、高潮、内水氾濫等により大規模な浸水被害が発生するリスクがある。
- このため、河川改修やダム整備と併せて、下水道施設整備、流出を抑制する雨水貯留施設等の拡大や河川防災ステーション整備、広域避難計画策定等の流域治水対策を実施する。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・高規格堤防整備、築堤、堤防強化
- ・河道拡幅・掘削、橋梁架替
- ・護岸、落差工改築・撤去
- ・砂防事業、森林整備及び保全
- ・閘門新設、水門改築、施設耐震補強
- ・河川防災拠点整備、河川防災ステーション整備
- ・高架橋緊急避難場所確保
- ・ダム建設、ダムの堆砂除去
- ・事前放流等の実施・体制構築
- ・地下河川、流域調節池、遊水地
- ・下水道等の排水施設整備・改修・修繕・更新
- ・雨水貯留浸透施設の整備
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成
- ・ため池の治水活用 等

■ 被害対象を減少させるための対策

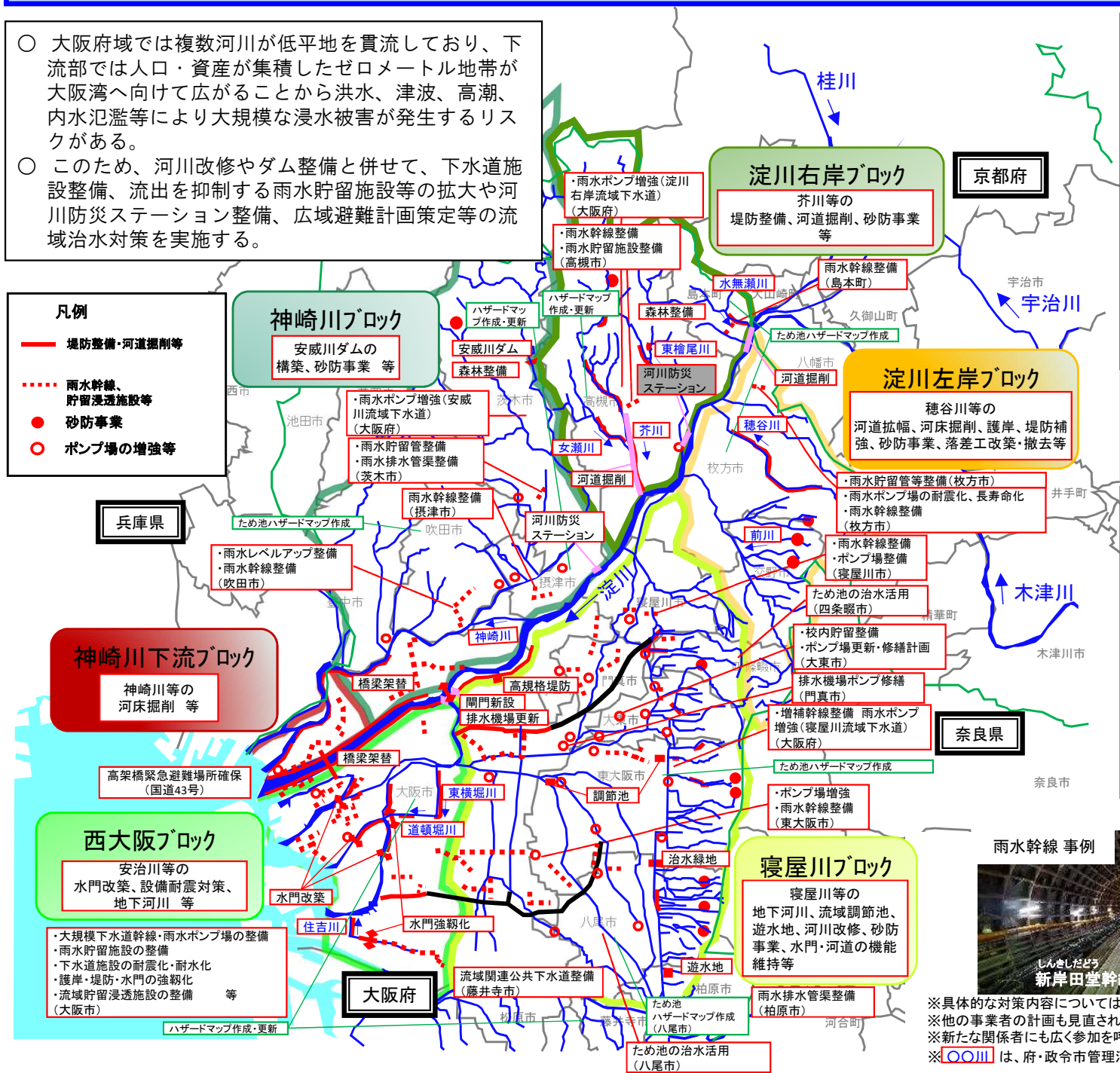
- ・土地利用誘導
- ・開発行為に対する流出抑制対策指導
- ・水害リスクマップの作成 等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・洪水ハザードマップ作成・更新
- ・ため池ハザードマップ作成
- ・防災教育・啓発活動等の推進
- ・要配慮者利用施設における避難計画の策定支援
- ・タイムラインの作成・運用
- ・マイ・防災マップ、マイ・タイムラインの作成支援
- ・VR・AR等を用いた情報発信
- ・ホットライン構築
- ・水位計・監視カメラの設置、監視体制の拡充
- ・広域避難計画策定
- ・分かりやすい防災気象情報の提供
- ・ゲリラ豪雨対策アクションプラン策定 等

■ グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

- 凡例**
- 堤防整備・河道掘削等
 - ⋯ 雨水幹線、貯留浸透施設等
 - 砂防事業
 - ポンプ場の増強等



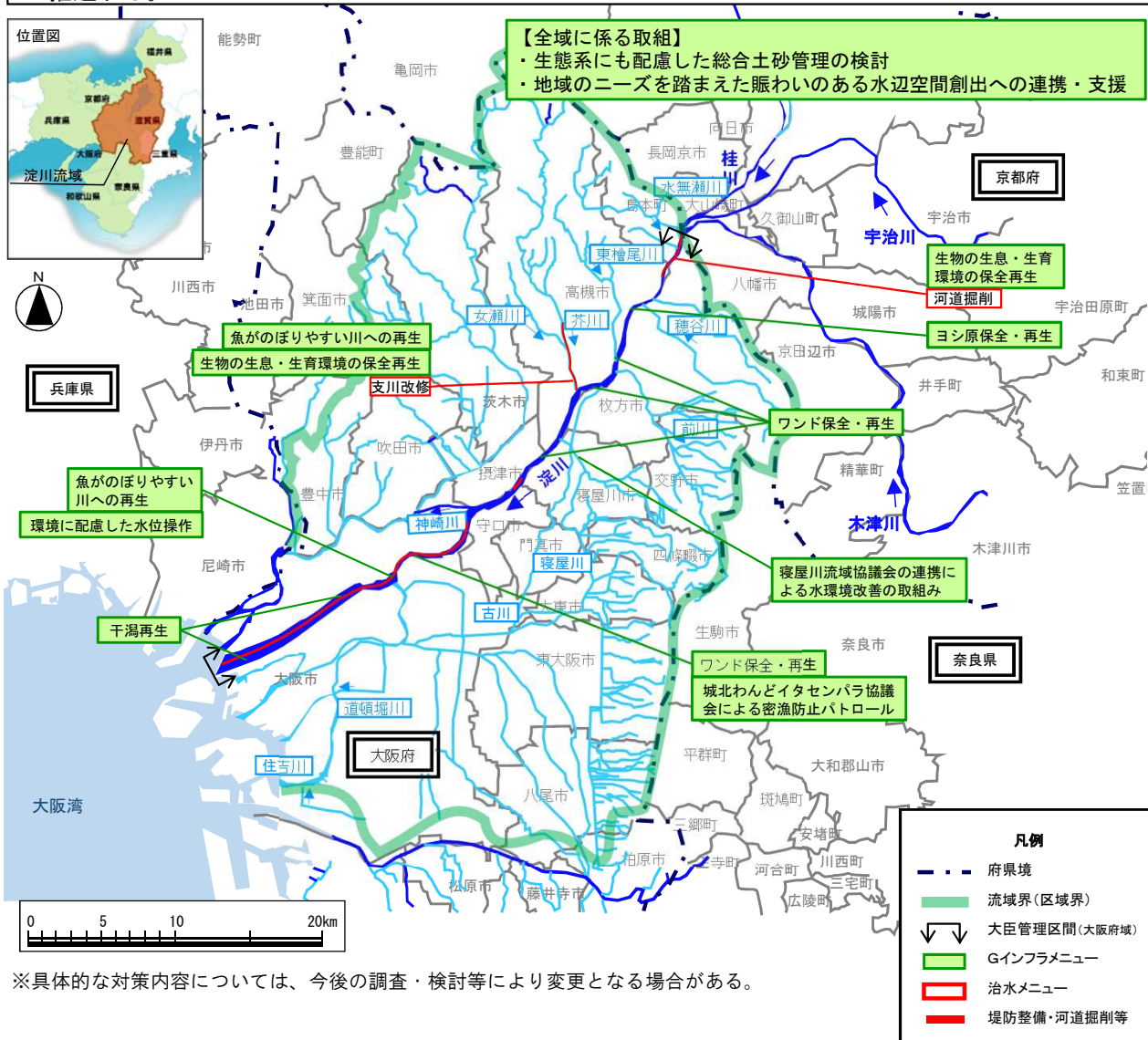
※具体的な対策内容については、主な対策を記載しており、今後の調査・検討により変更となる場合があります。
 ※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。
 ※**〇〇川** は、府・政令市管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会 【位置図】

～滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

●グリーンインフラの取り組み 『ワンドなど変化に富んだ多様な生息環境の保全・再生』

- 三川合流点より下流の淀川では、鶴殿に代表されるヨシ原、寄り洲、ワンド・たまりや干潟などの環境に応じて、イタセンパラをはじめとする魚介類、オオヨシキリや猛禽類などの鳥類、塩性植物など、多くの動植物が見られる。こうした次世代に引き継ぐべき多様な生態系を守ろうとする住民活動も活発である。
- 水辺にワンドやたまりが数多く存在し、水位の変動によって冠水・攪乱される区域が広範囲に存在し、変化に富んだ地形と固有種を含む多様な生態系を残すことを目標に、今後概ね20年間でイタセンパラ等の在来種が生息するワンド・たまりを保全・再生するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



●自然環境の保全・復元などの自然再生

干潟再生、ヨシ原保全・再生、ワンド保全・再生

●治水対策における多自然川づくり

生物の生息・生育環境の保全再生、魚がのぼりやすい川への再生

- ### ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み
- ・淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全
 - ・河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携
 - ・小中学校における河川環境学習の実施
 - ・住民団体と連携した水生生物調査の実施
 - ・城北わんどイタセンパラ協議会による密漁防止パトロール
 - ・住民と連携した外来生物駆除
 - ・環境に配慮した水位操作
 - ・寝屋川流域協議会の連携による水環境改善の取組み

市民ネットワークによる外来魚駆除



ワンドの再生(大塚地区)



淀川のシンボル
フィッシュイタセンパラ

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会【ロードマップ】

～滂輝く関西経済圏を支える流域対策～

- 淀川（大阪府域）では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、府、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
大阪府域は複数河川が貫流する低平地に形成された高度な都市構造を有し、洪水、津波、高潮、内水氾濫等により大規模な浸水被害が発生するリスクがあることから、河川改修やダム整備と併せて、下水道施設整備、流出を抑制する雨水貯留施設等の拡大や河川防災ステーション整備、広域避難計画策定等の流域治水対策を実施する。
【短期】計画規模洪水を安全に流下させるため、橋梁架替や河道掘削、堤防整備等と併せて、下水道施設整備や貯留浸透施設等の整備を推進する。また、淀川大堰閘門を整備することで災害時の避難や資材運搬など危機管理機能の強化を図る。安威川ダムを完成させることにより、神崎川流域の安全度向上を図る。
【中期】計画規模洪水を安全に流下させるため、阪神なんば線淀川橋梁の架替を完了させるとともに、河道掘削、堤防整備等を推進する。
【長期】大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、河道掘削、堤防整備等と併せて流出抑制対策等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

区分	主な対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	なんば線橋梁架替完成 (淀川河川事務所)	長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、橋梁架替 河川防災ステーション	大阪府、大阪市、摂津市、 淀川河川事務所	水門強靱化完成(大阪市)(R4完)	淀川大堰閘門新設完成 (淀川河川事務所)		
	地震・津波、高潮対策、閘門新設	大阪府、大阪市 淀川河川事務所				
	ダム建設	大阪府、淀川ダム統管理事務所、琵琶湖河川事務所、大戸川ダム工事事務所、水資源機構	川上ダム完成 (水資源機構)	安威川ダム完成 (大阪府)		3大水門改築完成 (大阪府)
	砂防事業、森林整備・保全	大阪府、高槻市、枚方市				
	雨水貯留浸透施設、雨水幹線整備、 下水道施設増強、耐水化	大阪府、大阪市、吹田市、高槻市、枚方市、 茨木市、寝屋川市、柏原市、藤井寺市、東大阪、 島本町、四條畷市				
	排水施設整備、改修、修繕、更新	大阪府、大阪市、高槻市、枚方市、寝屋川市、 門真市、東大阪市、大東市 等				
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画・居住誘導	高槻市、枚方市、八尾市 等				
	家屋の耐水化啓発	高槻市 等				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難確保計画策定支援	大阪市、高槻市、枚方市、摂津市 等				
	ハザードマップ作成、防災教育、避難訓練 等	大阪市、吹田市、高槻市、枚方市、摂津市、 藤井寺市、東大阪市、島本町、八尾市 等				
	防災気象情報の改善	大阪管区気象台				
	広域アクションプラン（ゲリラ豪雨対策）	環境省、大阪府 等				
グリーンインフラの取組	※詳細は次ページ					

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会【ロードマップ】

～濔輝く関西経済圏を支える流域対策～

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
グリーンインフラの取組	干潟再生	近畿地方整備局	試験施工		
	ヨシ原保全・再生	近畿地方整備局	ヨシ原保全・再生		
	ワンド保全・再生	近畿地方整備局	ワンド保全・再生		
	生物の生息・生育環境の保全再生	近畿地方整備局	生物の生息・生育環境の保全再生		
	魚がのぼりやすい川への再生	近畿地方整備局	魚がのぼりやすい川への再生		
	淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全	近畿地方整備局	淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全		
	河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携	近畿地方整備局	河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携		
	小中学校における河川環境学習の実施	近畿地方整備局	小中学校における河川環境学習の実施		
	住民団体と連携した水生生物調査の実施	近畿地方整備局	住民団体と連携した水生生物調査の実施		
	城北わんどイタセンパラ協議会による密漁防止パトロール	近畿地方整備局	城北わんどイタセンパラ協議会による密漁防止パトロール		
	住民と連携した外来生物駆除	近畿地方整備局	住民と連携した外来生物駆除		
	環境に配慮した水位操作	近畿地方整備局	環境に配慮した水位操作		
	寝屋川流域協議会の連携による水環境改善の取組み	近畿地方整備局	R3計画策定		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

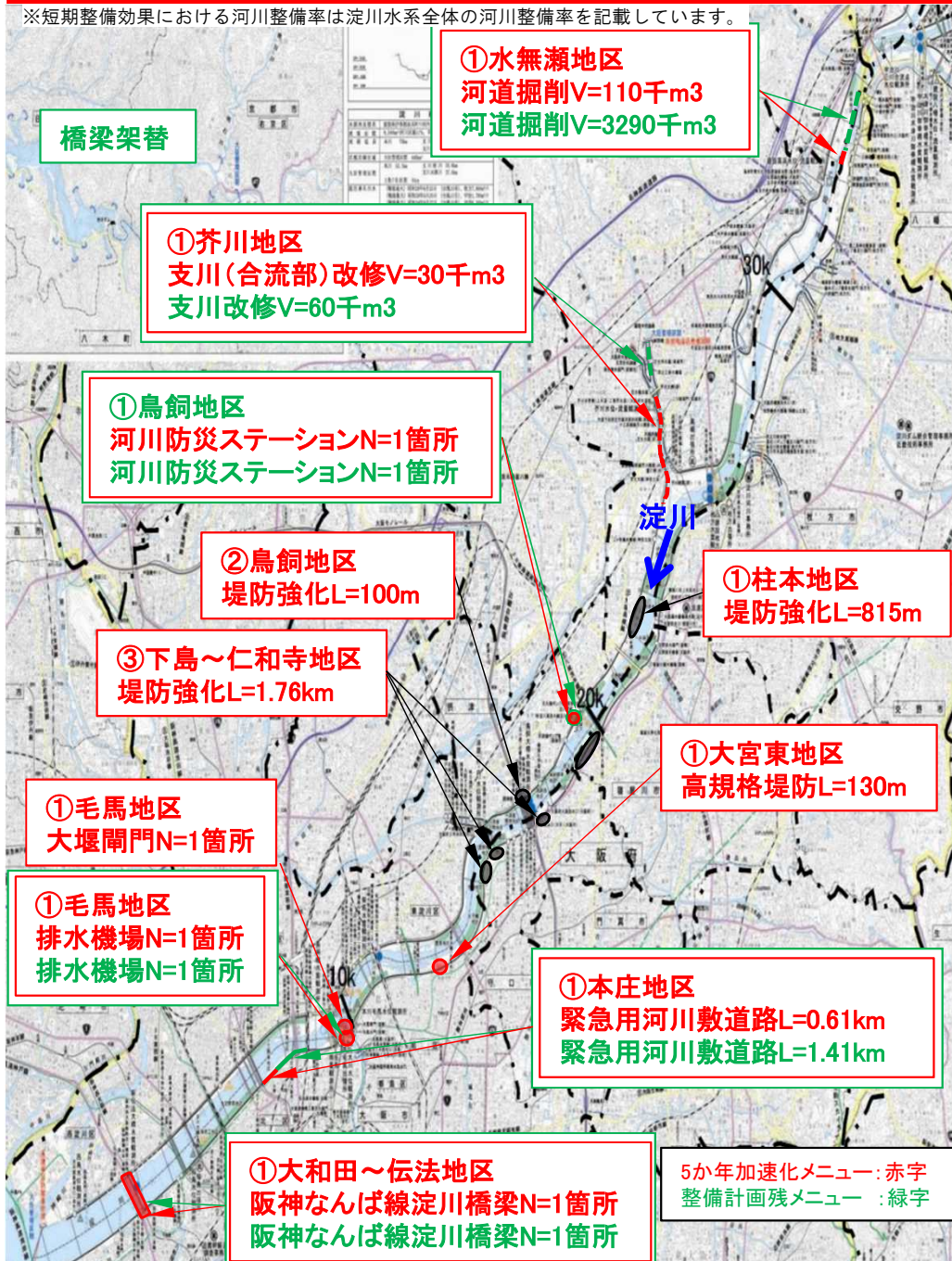
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（大阪府域）分会【事業効果（国直轄区間）の見える化】

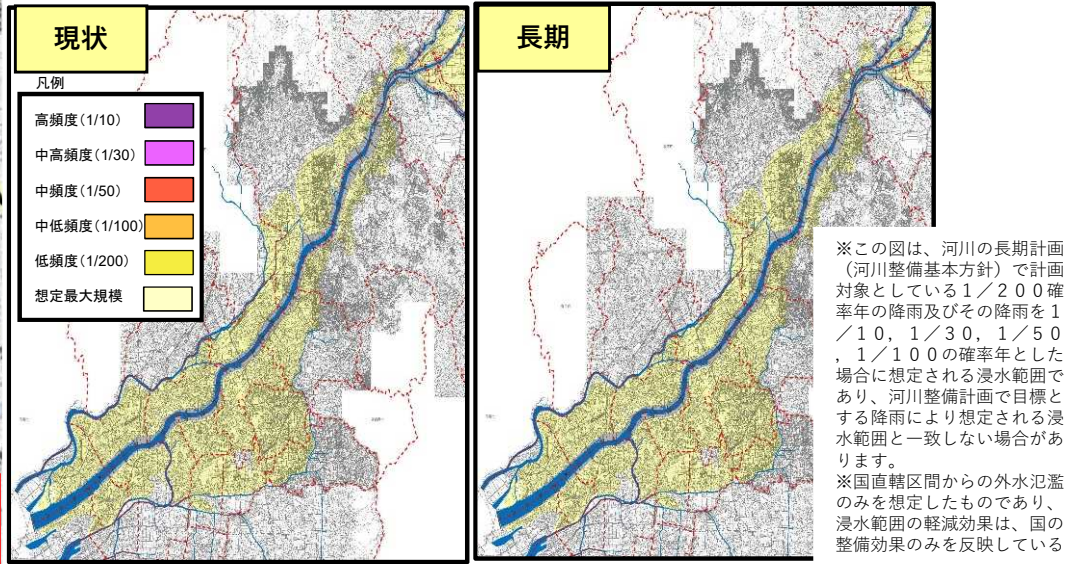
～滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約68%→約77%

※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載しています。



淀川大堰閘門整備を大阪・関西万博(R7)前のR6までに完了させることで、防災力を向上させるとともに、舟運により地域振興に寄与。



区分	対策内容	区間	工程		
			短期 (R2-R7年)	中期 (R8-R15年)	長期 (R16-R34年)
関連事業			R4		
淀川	河道掘削	①水無瀬地区	3%		100%
		支川改修	30%	100%	
	堤防強化	①芥川地区	100%		
		②鳥飼地区	100%		
		③下島～仁和寺地区	100%		
	河川防災ステーション	①大宮東地区	50%	100%	
		高規格堤防	100%		
	大堰閘門	①毛馬地区	100%		
		排水機場	8%		100%
	緊急用河川敷道路	①本庄地区	30%	100%	
阪神なんば線橋梁		60%		100%	
橋梁架替	①大和田～伝法地区			100%	

【短期整備完了時の進捗】
河道掘削
①水無瀬地区 3%
支川改修 30%
芥川地区 100%
鳥飼地区 100%
下島～仁和寺地区 100%
大宮東地区 100%
毛馬地区 100%
大堰閘門 100%
排水機場 8%
毛馬地区 100%
緊急用河川敷道路 30%
本庄地区 100%
阪神なんば線橋梁 60%
大和田～伝法地区 100%

※スケジュールは、今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

淀川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～ 滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：77%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



39市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



221施設

（令和6年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所
64箇所
（令和4年度実施分）

砂防関係施設の
整備数
7施設
（令和4年度完成分）

※施工中 29施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



9市町村

（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域
186河川

（令和4年9月末時点）
※一部、令和4年3月末時点

内水浸水想定
区域
7団体

（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画
洪水
14,088施設

土砂
906施設
（令和4年9月末時点）

個別避難計画
44市町

（令和5年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河川・下水道などにおける対策（寝屋川流域）

河川、下水道等が一体となった治水対策を実施しており、地下河川、下水道増補幹線、遊水池、調整池等の整備を推進。

【令和4年度の主な実績】

- ・寝屋川北部地下河川 城北立坑築造
- ・恩智川（法善寺）多目的遊水池
- ・布施公園調節池 池床掘削、管理橋上部工 躯体築造工
- ・加納元町調節池 I期発進立坑築造
- ・門真守口増補幹線 シールド工
- ・新岸田堂幹線 シールド工（東大阪市施工）
- ・流域貯留浸透施設の整備（4市4校1公園）
- ・ため池の治水活用（八尾市）



寝屋川北部地下河川
城北立坑築造工事



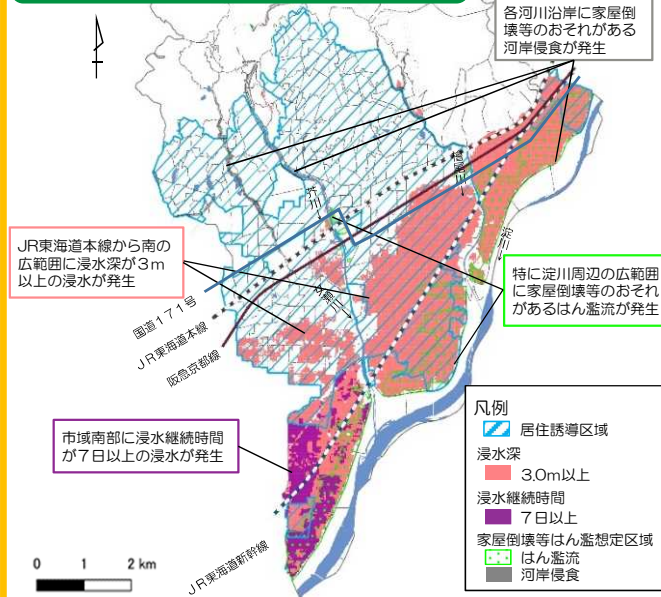
加納元町調節池（I期）
＜大阪府＞

被害対象を減少させるための対策

居住誘導区域見直し及び防災指針の策定

平成29年3月に策定した高槻市立地適正化計画の居住誘導区域は災害リスクを踏まえ設定しているが、昨今の頻発化・激甚化する自然災害への対応や法改正の主旨を踏まえ、水害リスクについて、居住誘導区域を見直すとともに、防災指針を追加する変更を行う。

想定最大規模降雨時に発生が想定されるリスク



＜高槻市＞

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

まるごとまちごとハザードマップの増設

平成30年3月に阪急水無瀬駅に設置したまるごとまちごとハザードマップを令和2年11月にJR島本駅、町立第三小学校、同第四小学校、同第一中学校に増設。



浸水深4.6m第四小学校正門



浸水深2.2mJR島本駅東口



＜島本町＞

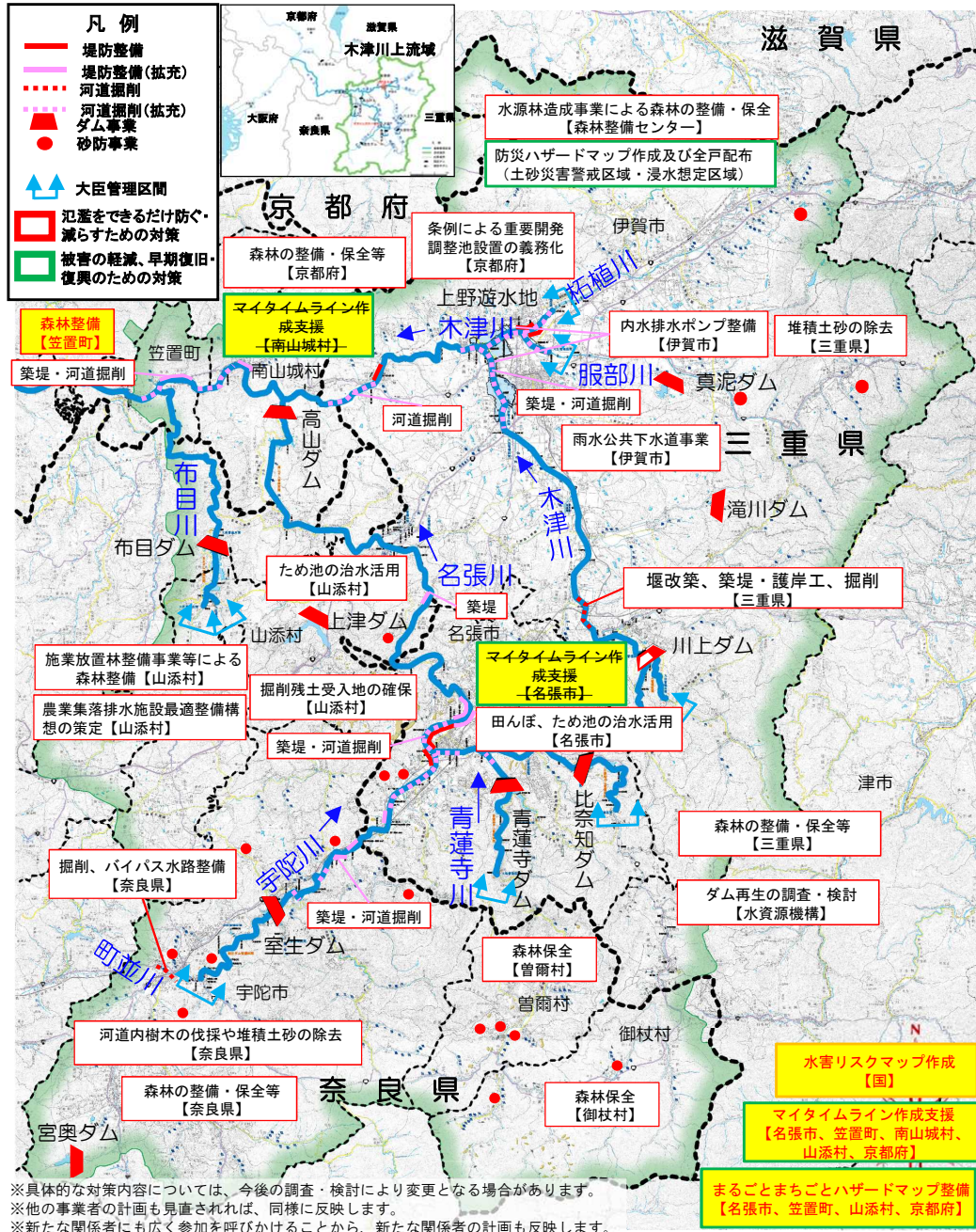
※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。

※淀川水系全体の指標の数値を記載しています。

木津川上流分会

淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【位置図】

～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～



○近年の豪雨や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、淀川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫対策】

- 河道掘削・拡幅、築堤、橋梁架替、堰改築、川上ダム、上野遊水地、バイパス水路、ため池の決壊防止、掘削残土受入地の確保推進

【内水氾濫対策】

- 下水道(雨水)管渠等の排水施設整備、内水排水ポンプ整備、雨水公共下水道事業の整備

【土砂災害対策】

- 砂防堰堤、溪流保全工の整備、地すべり対策

【流水の貯留機能の拡大】

- 川上ダムの整備、利水ダム等9ダムにおける事前放流等の実施、効果的な事前放流の実施(予測精度向上や施設改良)、河川改修に伴うダム運用改善、ダム再生の調査・検討、ダム湖の堆砂除去

【流域の雨水貯留機能の向上】

- 調整池の整備、田んぼ・ため池等の治水活用
- 森林の整備・保全、治山 等

御杖村の地域おこし協力隊(森林保全)

■被害対象を減少させるための対策

【水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫】

- 土地利用誘導(災害危険区域の指定など)
- 災害危険区域や建築制限の指定を受けた区域の整備(立地適正化計画策定事業など) 等

【まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実】

- 水害リスクマップの作成

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【土地の水災害リスク情報の充実】

- 地形改変等のあった箇所の基礎調査、水害リスク空白域の解消

【あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供】

- 防災教育の実施、水害履歴の情報発信
- ポータルサイトにおける水害リスク情報の充実

【避難体制等の強化】

- 避難指示に着目したタイムラインの策定、マイ・タイムラインの作成
- 避難情報に着目した複数市区町村を対象とした流域タイムラインの作成
- 広域避難計画の策定、多機関連携型タイムラインの拡充
- ハザードマップの改良・周知・活用、まるごとまちごとハザードマップの整備、水害リスク情報の空白域の解消、内水ハザードマップの策定
- システム等による危険度情報の発信(避難行動に資する高度化)
- 避難指示等の判断・伝達マニュアルの整備、関係機関が連携した実動水防訓練の実施
- 要配慮者利用施設における避難計画の策定及び避難訓練の促進、避難支援対策の整備
- 水防団や地域住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検、復旧・復興の資機材の確保
- 水防活動の担い手となる水防団員や水防協力団体の募集・指定の促進

【関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化】

- 排水施設情報の共有・排水手法等の検討、大規模水害を想定した排水計画の作成、排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施、水防拠点の検討 等

南山城村の避難行動タイムラインの作成

淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【位置図】

～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

●グリーンインフラの取り組み 『淀川の水と緑が組み合う流域治水対策』

- 木津川上流部の一部は室生赤目青山国定公園に位置し、国の特別天然記念物であるオオサンショウウオの生息が確認されている。また、岩倉峡や赤目四十八滝等の景勝地が点在し、豊かで多様な動植物が息づき良好な景観が形成されている等、木津川上流域は次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在している。
- 木津川上流域においては、多様な水生生物が生息・繁殖可能な河川環境を目標に、今後概ね30年間で、河道掘削にあわせ「オオサンショウウオ等の生育環境を保全する」など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



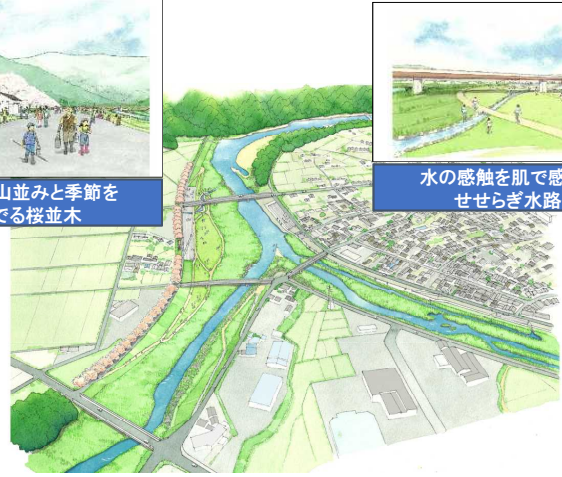
- 治水対策における多自然川づくり
 - ・上下流の連続性の回復
 - ・遊水地と本川の連続性の回復
 - ・生物の多様な生育環境の保全・再生



- 魅力ある水辺空間・賑わい創出
 - ・地域の歴史・文化に配慮した河川景観の保全
 - ・名張かわまちづくり



- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
 - ・ヤギを活用した除草
 - ・牧草等に活用される刈草ロールの配布
 - ・小中学生による水生生物調査
 - ・河川レンジャー制度を活用した環境学習
 - ・水辺の楽校を活用した環境学習



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【ロードマップ】

～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

- 木津川上流域では流域全体を俯瞰し、国、府県、市町村等が一体となって、以下の手順で「流域治水対策」を推進する。
 - 【短期】 治水安全度を着実に向上させるため、川上ダムと名張川黒田地区引堤を完成させる。
 - 【中期】 木津川上流域で人口資産が集中する伊賀・名張・宇陀市街地において、河道掘削及び堤防整備等を推進する。
 - 【長期】 気候変動を踏まえた更なる対策を推進し、河道掘削や堤防整備等により木津川上流域の安全度向上を図る。
 また、河川改修のストック効果の最大化により、ダムの運用改善等に取り組む。
- あわせて、水防拠点整備や管理施設の長寿命化対策等を実施する。
 豪雨が頻発・激甚化する中、市街地の浸水被害を防ぐ内水被害軽減対策としてポンプ場の整備、ため池や田んぼ等の活用に取り組む。
 大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、森林保全等の流出抑制策に取り組む。

区分	対策内容	実施主体	短期	中期	長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	名張川の河道(河床)掘削、引堤、築堤、橋梁架替等による洪水氾濫対策 水防拠点の検討	国土交通省	名張川黒田地区引堤完成(国土交通省)		
	名張川、宇陀川、青蓮寺川、町並川、山田川等の河道(河床)掘削や築堤、地下バイパス水路、樹木伐採・堆積土砂撤去等による洪水氾濫対策	国土交通省、三重県、奈良県	木津川上林・上神戸工区完成(三重県)		
	木津川、服部川、柘植川等の河道(河床)掘削や樹木伐採・堆積土砂撤去、遊水池の整備等による洪水氾濫対策	国土交通省、三重県、京都府			
	下水道(雨水)管渠等の排水施設整備、内水排水ポンプ整備、雨水公共下水道事業の整備	伊賀市	大戸川小田排水機場の整備(伊賀市)		
	砂防堰堤工、溪流保全工の整備、地すべり対策	国土交通省、三重県、奈良県			
	川上ダムの整備、利水ダム等9ダムにおける事前放流等の実施、効果的な事前放流の実施(予測精度向上や施設改良)、ダム湖の堆砂除去、河川改修に伴うダム運用改善、ダム再生の調査・検討	農林水産省、水資源機構	川上ダム完成(水資源機構)		
	調整池の整備、田んぼ・ため池等の治水活用、森林の整備・保全、治山 等	農林水産省、三重県、京都府、奈良県 名張市、山添村、曾爾村、御杖村、森林整備センター			
被害対象を減少させるための対策	土地利用誘導(災害危険区域の指定など)、災害危険区域や建築制限の指定を受けた区域の整備(立地適正化計画策定事業など) 等	名張市 等			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の空白域の解消等による土地の水災害リスク情報の充実	国土交通省、三重県、京都府、奈良県			
	防災教育の実施等によるあらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	国土交通省、水資源機構、三重県、京都府、奈良県			
	避難指示に着目したタイムラインの策定、マイ・タイムラインの作成等による避難体制等の強化	全ての主体			
	大規模水害を想定した排水計画(案)の作成等による関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	国土交通省、三重県、京都府、奈良県			
グリーンインフラの取組	※詳細は次ページ				

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【ロードマップ】

～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

区分	対策内容	実施主体	短期	中期	長期
グリーンインフラの 取組	生物の多様な生育環境の保全・再生	国土交通省	→		
	遊水地と本川の連続性の回復	国土交通省	→		
	上下流の連続性の回復	国土交通省	→		
	地域の歴史・文化に配慮した河川景観の保全	国土交通省	→		
	名張かわまちづくり	国土交通省	→		
	オオサンショウウオの生育環境に配慮	国土交通省	→		
	地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援	国土交通省	→		
	土砂動態などを把握するための継続的なモニタリング	国土交通省	→		
	生態系にも配慮した総合土砂管理の検討	国土交通省	→		

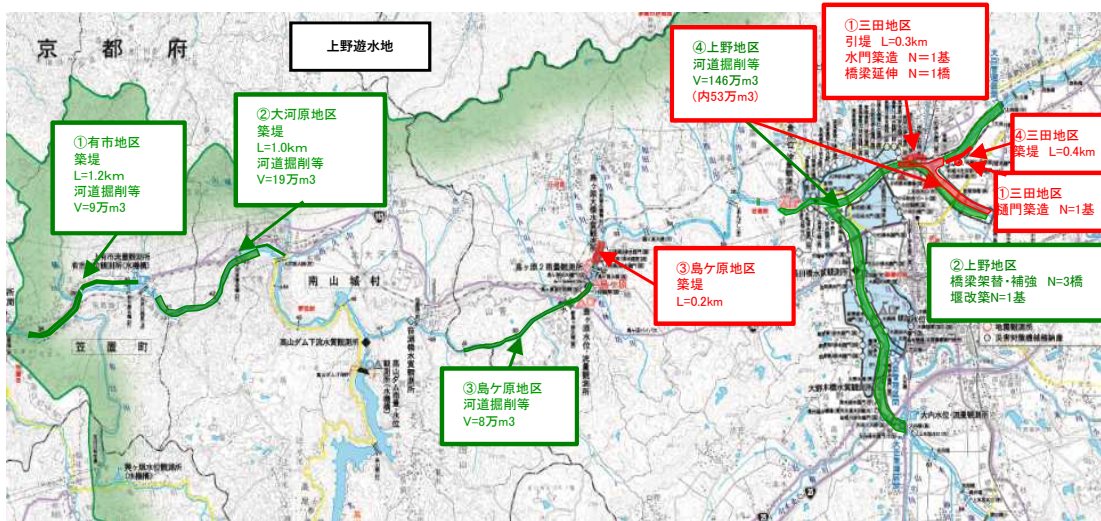
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約68%→約77%

現在供用している上野遊水地、川上ダム建設事業のR4完了、木津川支川服部川の三田地区の引堤整備のR7完了、引き続き服部川河道掘削等の推進により、服部川、柘植川合流部の資産集中地区において戦後最大である昭和28年台風13号規模洪水を安全に流下させることが可能。



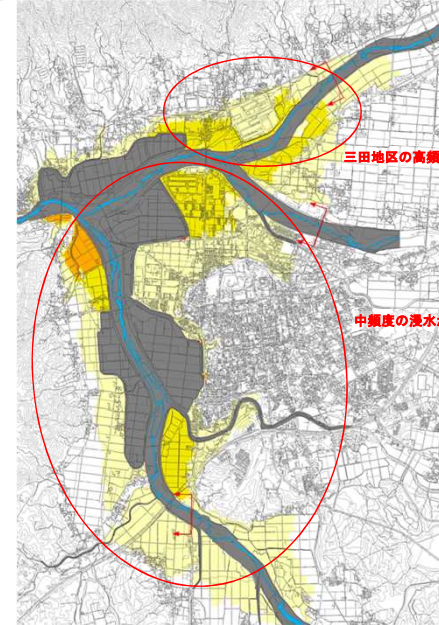
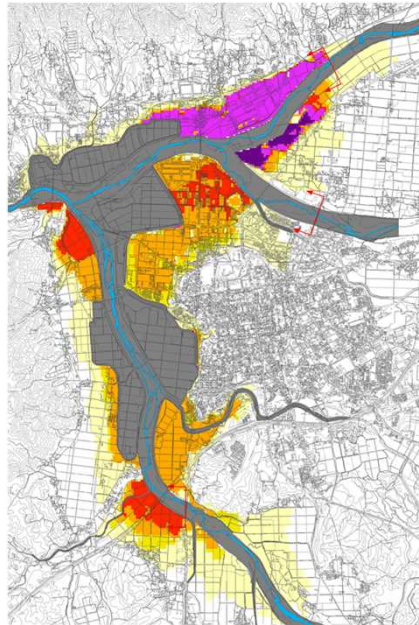
区分	対策内容	区間	工程		
			短期(R2-R7年)	中期(R8-R15年)	長期(R16-R34)
関連事業			▼川上ダム完成(R4)		
築堤	① 有市地区 (木津川)			100%	
	② 大河原地区 (木津川)				100%
	③ 島ヶ原地区 (木津川)		100%		
	④ 三田地区 (柘植川)		100%		
引堤	① 三田地区 (服部川)		100%		
	③ 三田地区 (柘植川)		100%		
樋門	① 有市地区 (木津川)			100%	
	② 大河原地区 (木津川)			100%	
河道掘削等	③ 島ヶ原地区 (木津川)				100%
	④ 上野地区 (木津川)				100%
	① 三田地区 (伊賀上野橋)		100%		
	② 上野地区 (岩倉橋他2橋、小田新井堰)				100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載している。

現状

短期



三田地区の高頻度の浸水が解消

中頻度の浸水が解消

【短期整備完了時の進捗】
 築堤
 ③島ヶ原地区 築堤 100%
 ④三田地区 築堤 100%
 引堤
 ①三田地区 引堤 100%
 樋門
 ①三田地区 樋門 100%
 河道掘削
 ④上野地区 河道掘削 34%
 橋梁延伸・架替
 ①三田地区 橋梁延伸・架替 67%

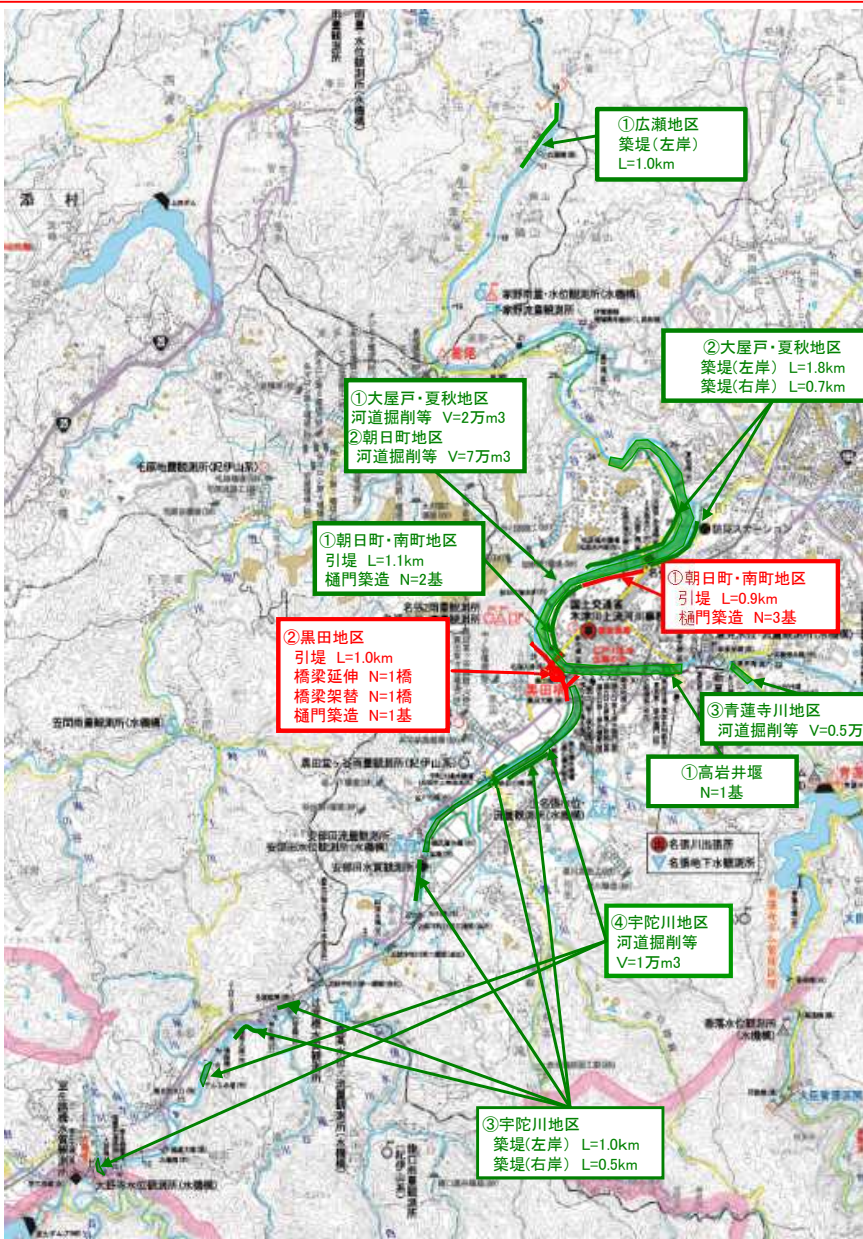
※この図は、河川の長期計画（河川整備基本方針）で計画対象としている1/150確率年の降雨及びその降雨を1/10, 1/30, 1/50, 1/100の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合がある。
 ※国直轄区間からの外水氾濫のみを想定したものであり、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。

淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【事業効果（国直轄区間）の見える化】

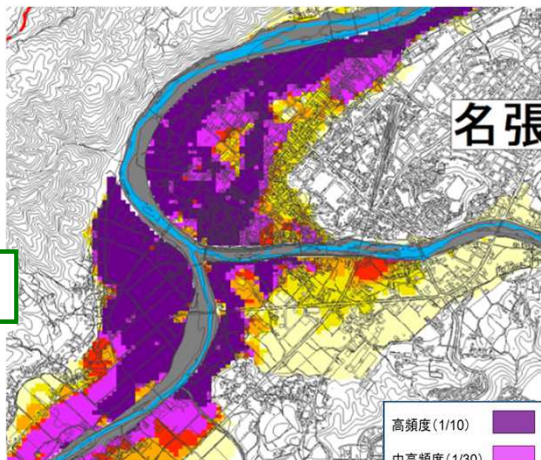
～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約68%→約77%

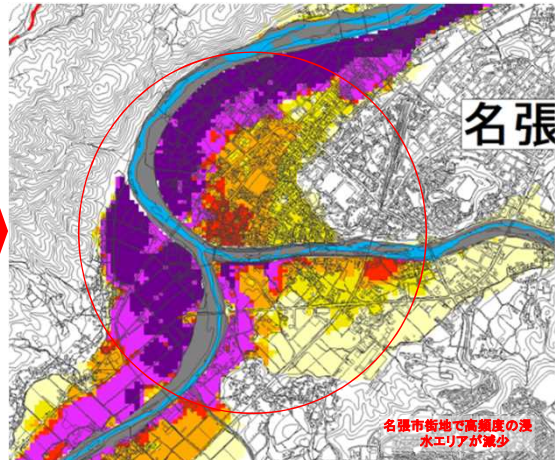
黒田地区引堤事業(旧堤撤去含む)完了させ名張市街地の水位を約1m低下させ越水を回避させるとともに、朝日町・南町地区引堤事業を推進することで、名張市街地の治水安全度をさらに向上。



現状



短期



【短期期整備完了時の進捗】
 引堤 ①朝日・南町地区 引堤 25%
 ②黒田地区 引堤 100%

※この図は、河川の長期計画（河川整備基本方針）で計画対象としている1/150確率年の降雨及びその降雨を1/10, 1/30, 1/50, 1/100の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合がある。
 ※国直轄区間からの外水氾濫のみを想定したものであり、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。

区分	対策内容	区間	工程		
			短期(R2-R7年)	中期(R8-R15年)	長期(R16-R34)
関連事業					
引堤	① 朝日・南町地区 (名張川)	① 朝日・南町地区 (名張川)	100%		
			100%		
築堤	① 広瀬地区 (名張川) ② 大屋戸・夏秋地区 (名張川) ③ 宇陀川地区 (宇陀川)	① 広瀬地区 (名張川) ② 大屋戸・夏秋地区 (名張川) ③ 宇陀川地区 (宇陀川)	100%	100%	
				100%	100%
					100%
河道掘削等	① 大屋戸・夏秋地区 (名張川) ② 朝日町地区 (名張川) ③ 青蓮寺川地区 (青蓮寺川) ④ 宇陀川地区 (宇陀川)	① 大屋戸・夏秋地区 (名張川) ② 朝日町地区 (名張川) ③ 青蓮寺川地区 (青蓮寺川) ④ 宇陀川地区 (宇陀川)		100%	
				100%	100%
					100%
					100%
井堰	① 高岩地区 (名張川)	① 高岩地区 (名張川)			100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載している。

淀川水系流域治水プロジェクト（木津川分会）【流域治水の具体的な取組】

～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：77%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



39市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



221施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 **64箇所**
（令和4年度実施分）

砂防関係施設の
整備数 **7施設**

（令和4年度完成分）
※施工中 29施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



9市町村

（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 **186河川**

（令和4年9月末時点）
※一部、令和4年3月末時点

内水浸水想定
区域 **7団体**

（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 **14,088施設**
土砂 **906施設**

（令和4年9月末時点）

個別避難計画 **44市町**

（令和5年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

名張川改修（木津川上流河川事務所）



名張川の引堤により、名張市街地の治水安全度を向上させる。

砂防堰堤（紀伊山系砂防事務所）

砂防堰堤の整備により、宇陀市内の土砂災害を防止する。



川上ダム建設（水資源機構）



川上ダムの整備により、伊賀市の治水安全度を向上させる。

被害対象を減少させるための対策

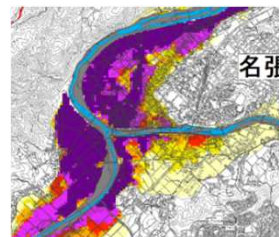
立地適正化計画策定に向けた検討（名張市）

立地適正化計画で定めた誘導区域について地域毎の災害リスクのきめ細やかな分析を行い、防災に関するより具体的な取組及び目標の検討を行う

災害リスク分析・特に危険な地域の抽出



水害リスクマップの作成（木津川上流河川事務所）



想定最大規模より頻度の高い降雨規模毎の浸水想定図を作成。さらに、浸水範囲を重ね合わせた水害リスクマップを作成。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

土砂災害に関する出前講座（奈良県）



土砂災害の基礎知識や早期の警戒避難の重要性を説明し、防力を向上を図る。

CATVを活用した住民に対する防災知識の普及（宇陀市）

住民の防災意識の高揚を図るため、CATVを活用し、防災力向上を図る。



タイムラインの作成支援（笠置町）



地区ごとに応じたタイムラインの作成に係る説明会の実施及び作成支援の実施。

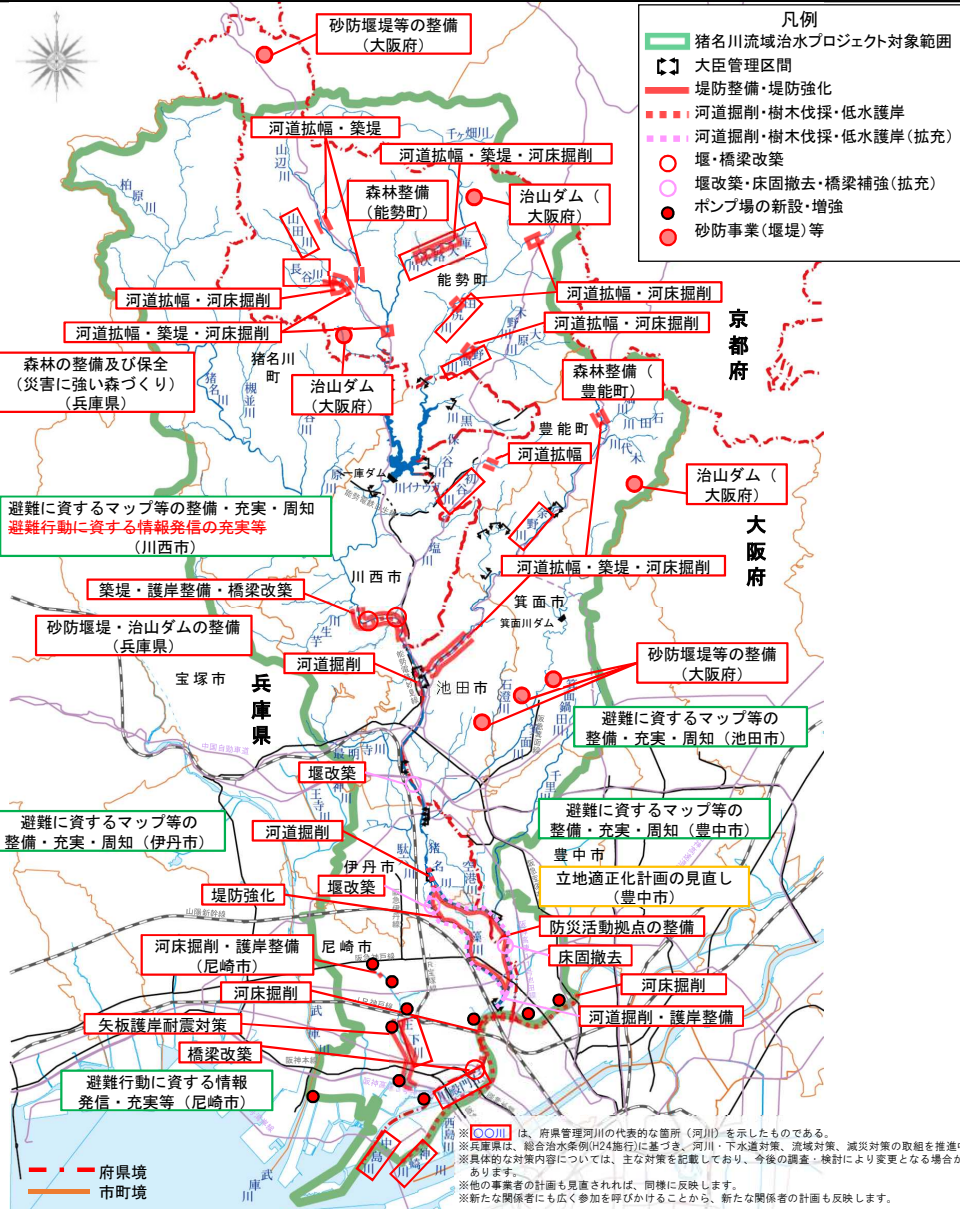
※指標の数値は集計のため変更の可能性があります。
※淀川水系全体の指標の数値を記載しています。

猪名川分会

淀川水系流域治水プロジェクト 猪名川分会【位置図】

～ 総合治水と流域治水による猪名川流域の治水安全度のさらなる向上 ～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、淀川水系猪名川流域においても、事前防災対策を進める必要があり、「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」、「被害対象を減少させるための対策」、「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」をハード・ソフト一体で進めることで洪水を安全に流し、気候変動を踏まえた更なる対策を推進し、流域における浸水被害の軽減を図る。

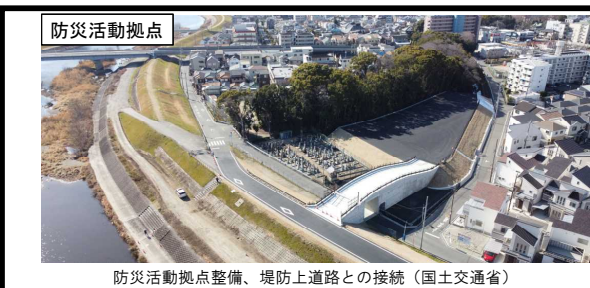


- ### ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・島の内地区の防災活動拠点の整備、堤防強化(堤防拡幅)等
 - ・左門殿川、神崎川、庄下川の河道(河床)掘削、河道拡幅、築堤、橋梁改築、耐震対策等
 - ・猪名川上流部(出在家地区・多田院地区等)及び中下流部の河道(河床)掘削、護岸整備、堰改築・床固撤去、築堤、橋梁改築及び一庫ダムの暫定放流の解消
 - ・一庫ダム及び箕面川ダムの事前放流等の実施・体制構築(関係者:国、兵庫県、大阪府、水資源機構、土地改良区、川西市、伊丹市、尼崎市、池田市、阪神水道企業団など)
 - ・下水道事業による雨水管渠の整備、老朽化対策、雨水ポンプ場の新設・増強、管渠施設・処理場・ポンプ場の耐震化
 - ・流出抑制対策の雨水貯留浸透施設の整備、開発行為に伴う調整池の設置、ため池等の治水利用
 - ・森林整備・保全等の治山対策、砂防事業(堰堤)の推進による雨水・土砂・流木の流出抑制対策 等

- ### ■被害対象を減少させるための対策
- ・建物等の耐水機能の確保・維持(敷地の嵩上げ、電気設備等の上階設置)
 - ・土地利用誘導(立地適正化計画の見直し等) 等

- ### ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・避難に資するマップ等の整備・充実・周知
 - ・避難指示等による判断・伝達マニュアルの整備・発令支援
 - ・避難行動に資する情報発信の充実等
 - ・防災教育に関する講習会・避難訓練等の実施
 - ・タイムライン(マイ・タイムライン、マイ避難カード、水害対応等)の作成・支援
 - ・「局地的豪雨探知システム」の利活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定
 - ・兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)への加入促進
 - ・広域避難体制の構築、検討支援
 - ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
 - ・水位計・監視カメラ・簡易量水標の設置、監視体制拡充 等

■グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ



※(〇)は、府県管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。
 ※兵庫県は、総合治水条例(24条)に基づき、河川・下水道対策、流域対策、被災対策の取組を推進中
 ※具体的な対策内容については、主な対策を記載しており、今後の調査・検討により変更となる場合があります。
 ※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

淀川水系流域治水プロジェクト 猪名川分会 【位置図】

～ 総合治水と流域治水による猪名川流域の治水安全度のさらなる向上 ～

●グリーンインフラの取り組み 『多様な生物が生息する人々と連携した河川環境の回復』

- 近年の猪名川では、レキ河原の減少や湿地環境の減少、縦断連続性の分断による魚類生息域の減少などが進行し、生物の生息・生育・繁殖環境に大きな影響を及ぼしている。一方、猪名川の自然環境は都市部に残された貴重な自然環境として人々に潤いを与えとともに利用され、市民の関心も高くなりますその重要性が認識されている
- 猪名川の中流部において、重要種であるイカルチドリ・カワヂシャ等が生息・生育可能な環境の保全・創出を図るため、今後概ね30年間でレキ河原の保全や簡易魚道の保全・改良を行うなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



【全域に係る取組】
地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

●自然環境の保全・復元などの自然再生
・動植物の生息環境確保に向けたレキ河原と簡易魚道の保全

●治水対策における多自然川づくり
・上下流の連続性確保に向けた簡易魚道の保全・改良
・水際環境確保に向けた水陸移行帯の保全及び湿地環境の保全

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み
・小中学校などにおける河川環境学習、水環境パネル展の開催 等
・ヒメボタル幼虫調査、観察会の実施
・地域活動団体等と連携・協働した外来種であるアレチウリ駆除活動の実施
・地域協力団体と連携したアユの産卵場整備体験学習



淀川水系流域治水プロジェクト 猪名川分会【ロードマップ】

～ 総合治水と流域治水による猪名川流域の治水安全度のさらなる向上 ～

○猪名川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、府県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】猪名川上流部の兵庫県区間（多田院地区等）で築堤・護岸整備・橋梁改築を実施する。

猪名川上流部の直轄区間上流（出在家地区）で河道掘削を実施し、戦後最大である昭和35年台風16号洪水を安全に流下させる河道整備を完成させる猪名川と藻川に囲まれる島の内地区下流部において、水害リスクを軽減するための堤防強化（堤防拡幅）を完成させる。

猪名川直轄区間については、昭和35年台風16号洪水の降雨量を1.1倍とした洪水を安全に流下させるための河道掘削に着手する。

【中期】猪名川と藻川に囲まれる島の内地区において、壊滅的な被害を未然に防ぐため、堤防強化（堤防拡幅）を実施する。

【長期】新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し対策が必要となる区間について、堤防強化を実施する。

河道掘削等を推進し、昭和35年台風16号洪水の降雨量を1.1倍とした洪水を安全に流下させる。

○あわせて、都市河川である流域の特徴を踏まえ、下水道整備による浸水対策（雨水ポンプ増強等）・流出抑制対策（雨水貯留施設の整備等）の氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、土地利用誘導の被害対象を減少させるための対策、避難に資するマップ等の被害軽減、早期復旧・復興のための対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	島の内地区の防災活動拠点の整備、堤防強化（堤防拡幅）等	猪名川河川事務所	防災活動拠点整備完成 島の内地区（下流部） 堤防強化（堤防拡幅）完成	川西市・池田市・豊中市・尼崎市	
	左門殿川、神崎川、庄下川の河道（河床）掘削、河道拡幅、築堤、橋梁改築、耐震対策等	大阪府・兵庫県 尼崎市	大阪府（神崎川） 兵庫県（左門殿川、神崎川、庄下川） 尼崎市（庄下川）		
	猪名川上流部及び中下流部の河道（河床）掘削、護岸整備、堰改築・床固撤去、築堤、橋梁改築及び一庫ダムの暫定放流の解消	猪名川河川事務所 大阪府・兵庫県	猪名川上下流部 多田院地区等 一庫ダム暫定放流解消 猪名川下流部の浸水被害軽減 気候変動対応河道完成	猪名川下流部	猪名川中下流部
	一庫ダム及び箕面川ダムの事前放流等の実施・体制構築	水資源機構 大阪府・兵庫県	一庫ダム・箕面川ダムの事前放流実施		
	下水道整備による浸水対策	大阪府 豊中市・伊丹市 等	雨水ポンプ・幹線・管渠等の整備（豊中市・池田市・尼崎市・伊丹市・川西市） 雨水増補管の整備（豊中市）		
	流出抑制対策（調整池、ため池等）など	林野庁 大阪府・兵庫県 等	ため池等の雨水貯留浸透施設の整備・活用（大阪府・兵庫県・池田市） 森林整備・保全等の治山対策・砂防事業（堰堤）の推進による、雨水・土砂・流木の流出抑制対策（林野庁・大阪府・兵庫県）		総合治水対策の強化
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	大阪府・兵庫県 豊中市・宝塚市	建物等の耐水機能の確保・維持（兵庫県） 立地適正化計画の見直し（豊中市）		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難に資するマップ等の整備・充実・周知	猪名川河川事務所 大阪府・兵庫県 池田市 等	浸水・高潮・土砂災害ハザードマップの集約した保存版の作成（豊中市） 洪水等ハザードマップの作成・公表・周知・啓発（大阪府・兵庫県・豊中市・池田市・尼崎市・伊丹市・川西市）		
	避難行動に資する情報発信・充実等	猪名川河川事務所 大阪府・兵庫県 川西市 等	防災情報等の発信（大阪府・兵庫県） 多様な情報発信手段の検討、整備（尼崎市・川西市）		
グリーンインフラの取組	レキ河原保全、水陸移行帯の保全、湿地環境の保全、簡易魚道の保全・改良	猪名川河川事務所	レキ河原保全、水陸移行帯の保全、湿地環境の保全、簡易魚道の保全・改良		
	河川環境学習・水環境パネル展の開催、ヒメボタル幼虫調査・観察会の実施、アレチウリ駆除活動の実施、アユの産卵場整備体験学習	猪名川河川事務所、河川レンジャー、神崎川水濁協猪名川分会、河川協力団体	河川環境学習・水環境パネル展の開催、ヒメボタル幼虫調査・観察会の実施、アレチウリ駆除活動の実施、アユの産卵場整備体験学習		
	フラッシュ放流とダム下流への土砂還元の実施、弾力的管理試験の実施、ダム湖内の外来魚を駆除	水資源機構	フラッシュ放流とダム下流への土砂還元の実施 弾力的管理試験の実施 ダム湖内の外来魚を駆除		
	ダム上流河川でのアユの産卵場整備	一庫ダム水源地域ビジョン推進協議会	ダム上流河川でのアユの産卵場整備		

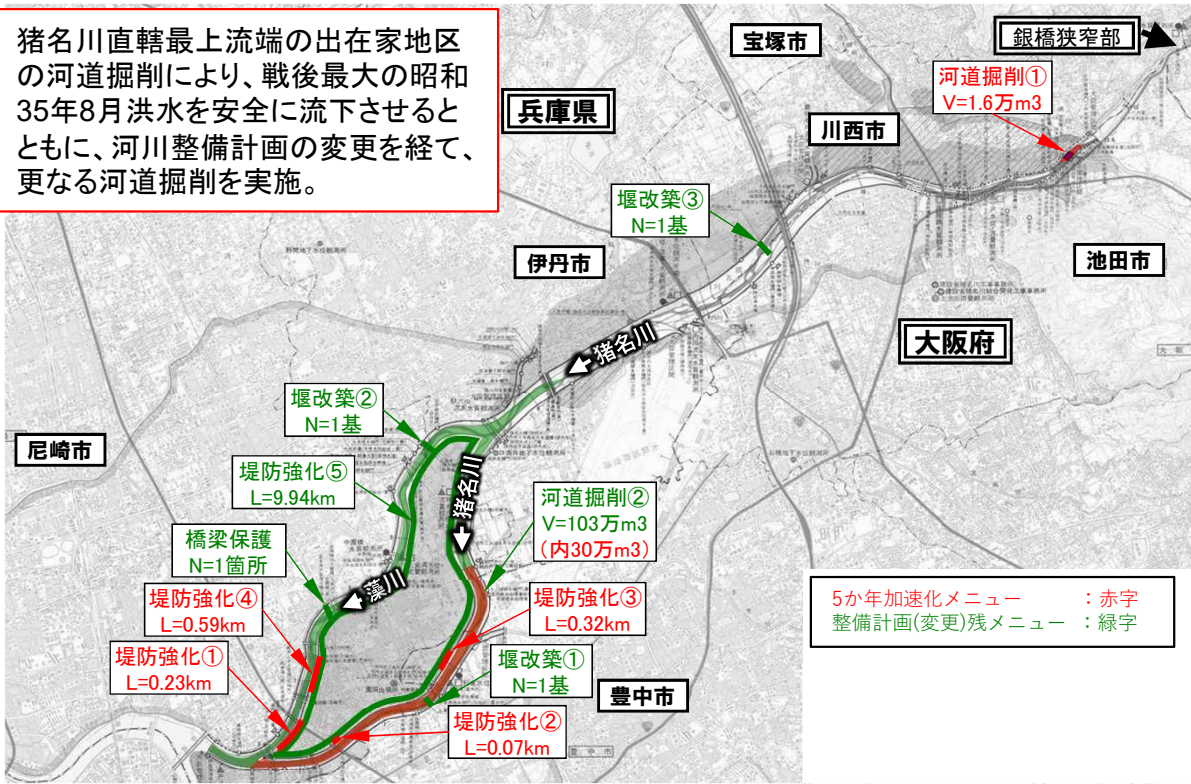
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある 39

淀川水系流域治水プロジェクト 猪名川分会【事業効果（国直轄区間）の見える化】

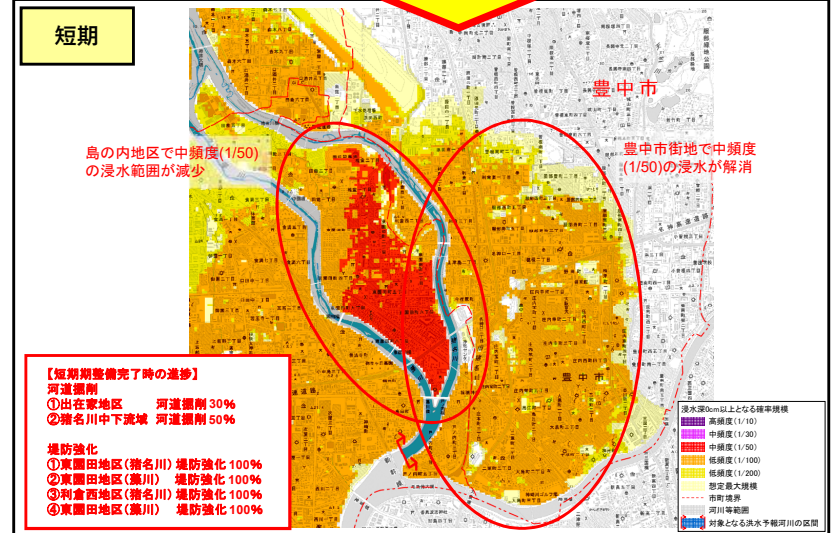
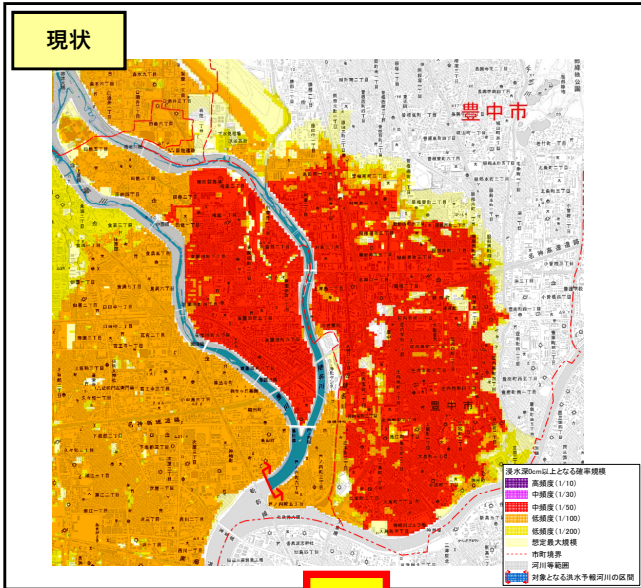
～ 総合治水と流域治水による猪名川流域の治水安全度のさらなる向上 ～

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約68%→約77%

猪名川直轄最上流端の出在家地区の河道掘削により、戦後最大の昭和35年8月洪水を安全に流下させるとともに、河川整備計画の変更を経て、更なる河道掘削を実施。



5カ年加速化メニュー：赤字
整備計画(変更)残メニュー：緑字



区分	対策内容	区間	工程	
			短期 (R2～R7年)	中長期 (R8～R33年)
河道掘削		①地区 (出在家)	30%	
		②地区 (猪名川中下流域)	50%	
堰改築等		①地区 (上津島床固)		100%
		②地区 (大井堰)		100%
		③地区 (高木井堰)		100%
堤防強化		橋梁保護 (阪急神戸線深川橋梁保護)		100%
		①地区 (東園田)	100%	
		②地区 (東園田)		100%
		③地区 (利倉西)		100%
		④地区 (東園田)		100%
		⑤地区 (島の内)		100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載している。

淀川水系流域治水プロジェクト 猪名川分会【流域治水の具体的な取組】

～ 総合治水と流域治水による猪名川流域の治水安全度のさらなる向上 ～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：77%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



39市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



221施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 **64箇所**
（令和4年度実施分）

砂防関係施設の
整備数 **7施設**

（令和4年度完成分）
※施工中 29施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



9市町村

（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 **186河川**

（令和4年9月末時点）
※一部、令和4年3月末時点

内水浸水想定
区域 **7団体**

（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 **14,088施設**
土砂 **906施設**

（令和4年9月末時点）

個別避難計画 **44市町**

（令和5年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



出在家地区河道掘削（国土交通省）

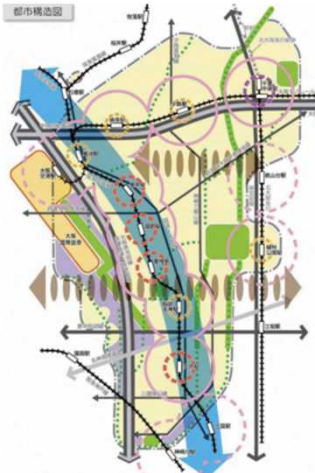
流下能力向上対策



河道掘削

猪名川上流部の直轄区間上流（出在家地区）において、戦後最大である昭和35年台風16号洪水を安全に流下させる河道整備を実施

被害対象を減少させるための対策



めざすべき都市の骨格像（豊中市）

「第2次豊中市都市計画マスタープラン」の「都市空間の将来像」では、居住・都市機能・産業の各誘導ゾーンやバス路線充実に向けた地域連携網を設定し、居住の拡散防止による利便性の高い住環境の維持や事業所の操業環境確保、生活サービス機能の維持・充実とともに、歩いて暮らせる都市づくりに取り組むものとしている。

「都市空間の将来像」の実現のため、公共交通網の活用や居住の誘導並びに都市機能の誘導をめざす包括的な計画として、豊中市立地適正化計画をH30年度に策定。

立地適正化計画の見直し（防災指針の追加）を検討

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

要配慮者利用施設の避難確保計画の作成について

大阪府池田土木事務所

◆水防法、土砂災害防止法に基づき、要配慮者利用施設の「避難確保計画作成」と「避難訓練実施」が義務となっています。

浸水や土砂災害が想定される地域における社会福祉施設、学校、医療施設等の要配慮者利用施設の所有者または管理者は、洪水時等における迅速な避難の確保を図るため、「避難確保計画の作成」「避難訓練の実施」が、水防法、土砂災害防止法により義務化されています。

※水防法、土砂災害防止法 平成29年6月19日改正

大阪府と連携した要配慮者利用施設避難確保計画の作成支援（池田市）

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成に向けた講習会を開催することにより、未作成施設に対する支援をおこなう。（令和3年2月末時点において、全51施設が作成完了）
※洪水38施設、土砂災13施設

※淀川水系全体の指標の数値を記載しています
※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。